

著作権についてのご注意



警告

あなたがレコードやCD、録音物などから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断では使用できません。

(社)私的録音補償金管理協会
TEL: (03)3261-3444

これらの場合には、著作権法上の権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会(JASRAC)もしくは最寄りの支部におたずねください。

録音可能なCDについて

録音可能な推奨ディスクは音楽用「DIGITAL AUDIO」のCD-R/CD-RWが下記のディスクでも録音は可能です



● CD-R 音楽用 (Music / Audio) を必ず使用ください

CD-Rはライトワنس(録音後の消去ができない)CDです。ファイナライズ(完成)を行なわない限り、曲を追加して録音することはできますが、消去はできません。

● CD-RW 音楽用 (Music / Audio) またはデータ用 (Data / 録音倍速20倍速未満)

CD-RWはリライタブル(消去することで、また録音ができるようになる)CDです。最後に録音した1曲のみの消去または、ディスク内のデータをすべて消去ができます。

保証書

品名	W-CD・Wカセットレコーダーマルチプレーヤー		
お客様	お名前	ご住所	電話番号 ()
お買上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間 (お買上げ日より)	本体1年 (但し消耗品は除く)	輸入販売元 (株)とうしよう	

〈無料修理規定〉

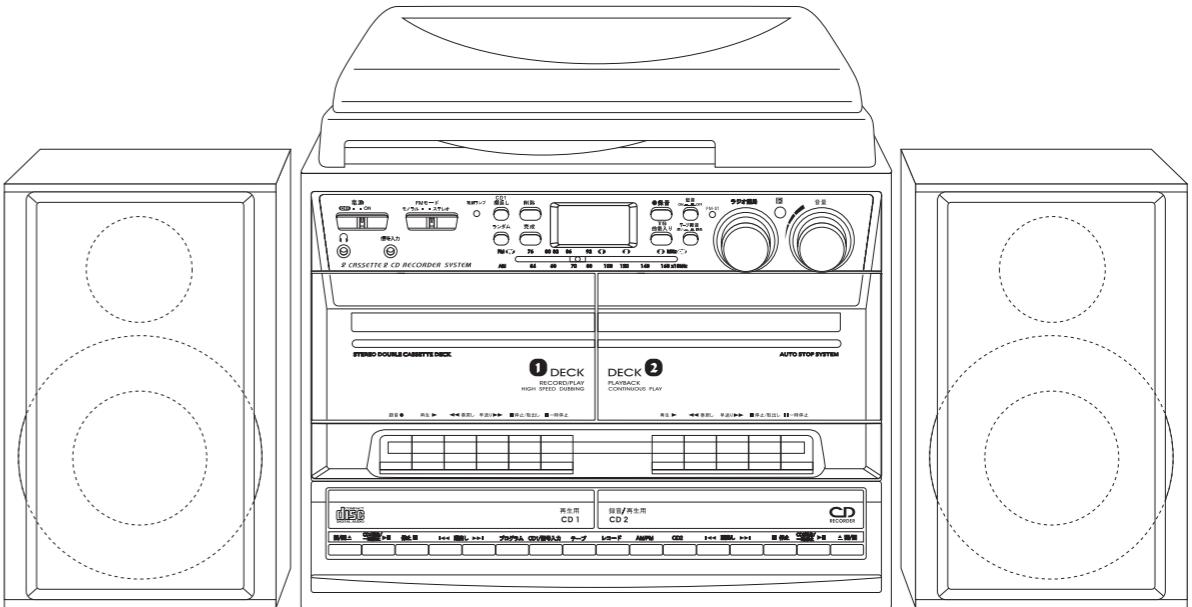
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ① 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ② お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - ③ 火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
- ④ 異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
- ⑤ 用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
- ⑥ 本書のご提示がない場合。
- ⑦ 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- ⑧ 修理または商品検査に関して商品到着より8日以降の場合は弊社への送料はお客様にてご負担がいたします。修理/検品後の発送は弊社にて負担いたします。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

型名 TCDR-386WC

W-CD・Wカセットレコーダー^{マルチプレーヤー} 取扱説明書(保証書付)

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



目次

安全上のご注意	2	ラジオの聴き方	19
誤作動の注意事項	3	CDからカセットテープへの録音方法	20
仕様スペック	3	ファイナライズ解除方法	22
CDからCDへの録音方法	4	CDをトレーにセットする方法	23
カセットテープからCDへの録音方法	6	レコード針の交換	23
レコードからCDへの録音方法	8	レコードプレーヤーの使い方	24
簡単録音操作方法(A面とB面を録音する方法)	10	外部出力端子の接続	26
CD-RWの曲データの消去	12	ヘッドホンの使用方法	28
曲数を入れる方法	13	外部プレーヤーの接続方法	29
CDプレーヤーの使い方	14	各部の機能と接続方法	30
リモコンの名称と機能	15	こんなとき/故障かな?と思ったら	31
本体正面図(機能選択ボタン表示)	16	録音可能なCDについて	32
CDプレーヤーの便利な機能	18	著作権についてのご注意	32
保証書	32		

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意(注意・警告・危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

！ 警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。



●本器の側面、裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。



また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)

！ 注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。



●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

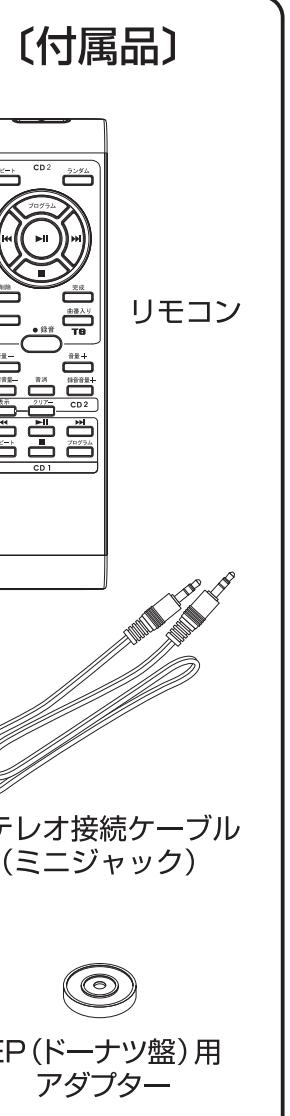
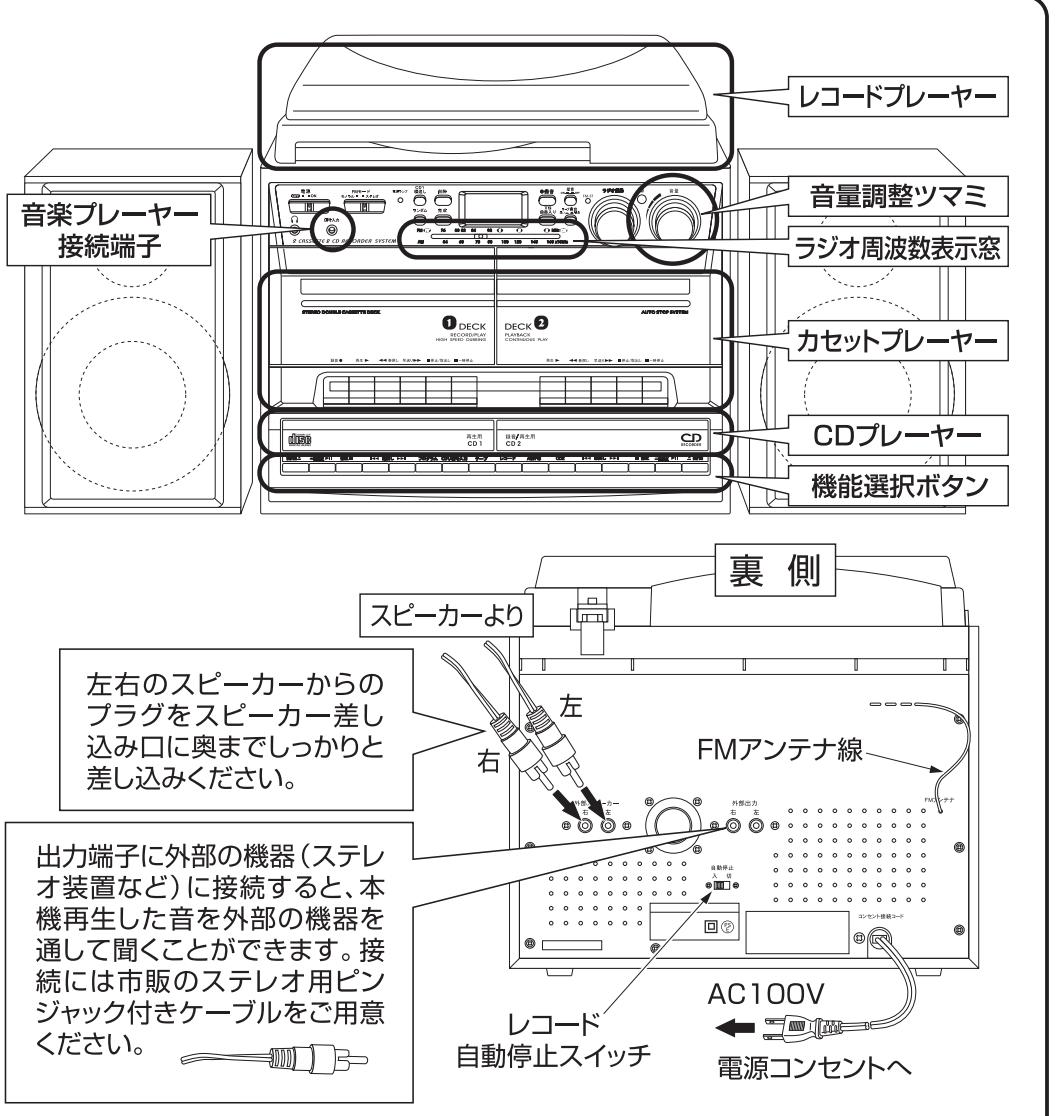


こんなときは／故障かな?と思ったら

●故障かな?と思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症 状	ここをお確かめください
スピーカー 音が出ない 音が途切れる	●音量は十分ですか? ●ヘッドホンをジャックに差したままになっていませんか? ●リモコンの音消ボタンが押されていませんか?
リモコン リモコンが使えない	●本体の電源はONになっていますか? ●リモコンと本体の間に障害物はありませんか? ●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか?(約7m以内) ●リモコンの電池は正しい向きに入っていますか? ●リモコンの電池が消耗していませんか?
CDレコーダー 再生できない 音が出ない	●CDボタンを押しましたか? ●CDのオモテ側を上向きに、正しく挿入されていますか? ●CDの再生面が汚れていませんか?やわらかい布などでふいてください。 ●ファイナライズ(完成処理)しましたか?していないとCD1または他のCDプレーヤーで再生できません。
CDレコーダー 録音できない	●音楽用のCD-RまたはCD-RW使用していますか? ●録音されてない空のCDディスクですか? 液晶表示にNOTOC(書き込み可能CDを意味します) ①CDに容量は残っていますか? 液晶にFULL表示がでましたら録音はできません。 ②CD盤表示 640MB・約74分/700MB・約80分の録音が可能です。 音楽用は分表示/データ用はMB表示されています(ご注意) ※ファイナライズ処理のために約5分程度の処理容量が必要です。 (640MB・約70分/700MB・約75分の録音が可能) ③一度ファイナライズ処理をすると追加録音ができません。 追加録音は必ずファイナライズ解除してからおこなってください。 ④お好みのCD盤に「CCCD」コピーコントロール表示がある場合、録音できない恐れがあります。
レコードプレーヤー ターンテーブルが回らない 音が出ない	●レコードボタンを押しましたか? ●針の保護カバーカバーを前方上方向に上げてありますか? 確認してください。
カセットテープ テープが入らない 回らない	●テープは正しく録音されたものですか? ●テープボタンを押して選択しましたか? ●テープを挿入するとき、上下、左右、正しい向きになっていますか?
ラジオ 音が出ない	●AM/FMボタンを押してラジオを選択しましたか? 何度かボタンを押してディスプレーでお聴きになりたい放送局がAMかFMかを確認してください。 ●お聴きになりたい番組の周波数は合っていますか?
ラジオ 雑音が入る	●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。(FM受信時) ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。(AM受信時)

各部の機能と接続方法



！誤作動の注意事項！

ご購入いただきました商品は精密機械です。

操作上の下記注意事項を必ずお読みになってからご使用ください。

操作をする上で「選択ボタン」をポンポンと何度も押さないでください。

- ① 基本操作は一回です。何度か押しますと不具合の原因になり誤作動を起こしますのでご注意ください。

※ディスプレイに下記の表示が出た場合

「busy」作動中／動作中です、他のボタンを絶対に押さないでください。

「busy」表示が消えるまでお待ちください。

「err」 「—」 コンセントを抜き放電を行ってください。（約24H）

初期モード（出荷モード）に戻し再度操作を行ってください。

「busy」が消えない場合、コンセントを抜き放電を行ってください。（約24H）

- 再生されるメディア（テープ／レコード／CD）に傷、埃、ゆがみ、指紋等があると再生時は正常に聞こえてもCDに録音する上でデジタル変換できかねる音源が原因で音飛びや録音が止まってしまう場合があります。必ず汚れを取つてからセットしてください。また、テープ・レコードはアナログ特有の音源の為、多少のノイズが入る場合があります。ご了承ください。

※CDタイトル面に傷がある場合も上記同様になる場合があります。

- ③ 録音するCD-R/RWに関してメーカーまたは、CDディスクにより操作上間違ひなく操作しても録音できない場合があります。上記同様の場合は、別のCDまたは、CDメーカーを変えてお試しください。

- ④ CDトレー開閉に関しては必ず開閉ボタンにて操作してください。手で閉じますとトレーは開閉しますがプレーヤー内部ではOPENのままであります。再度開閉ボタンで閉じてください。

仕様スペック

◆CDプレーヤー

周波数特性：60Hz～16KHz（±3dB）
CD方式：Audio CD／CD-R／CD-RW
※MP3などの圧縮されたCDは再生不可

◆レコードプレーヤー

モーター：DC方式
駆動方式：ベルトドライブ
回転数：33 3/1 / 45 / 78rpm
信号雑音率：32dB
針：サファイア

◆ラジオ

FM：76.0～90MHz
AM：540～1,600KHz
周波数特性：100Hz～4KHz

◆アンプ

消費電力：42W
出力：2W×2W
周波数特性：60Hz～16KHz

◆スピーカー：2

サイズ：100mm / 27mm
インピーダンス：4Ω
出力端子：イヤホン 3.5mm
出力端子：ステレオ（L/R）RCA

◆録音形式

ファイルの種類：非圧縮
(WAV形式 / オーディオ形式)

ご使用前に必ずお読みください

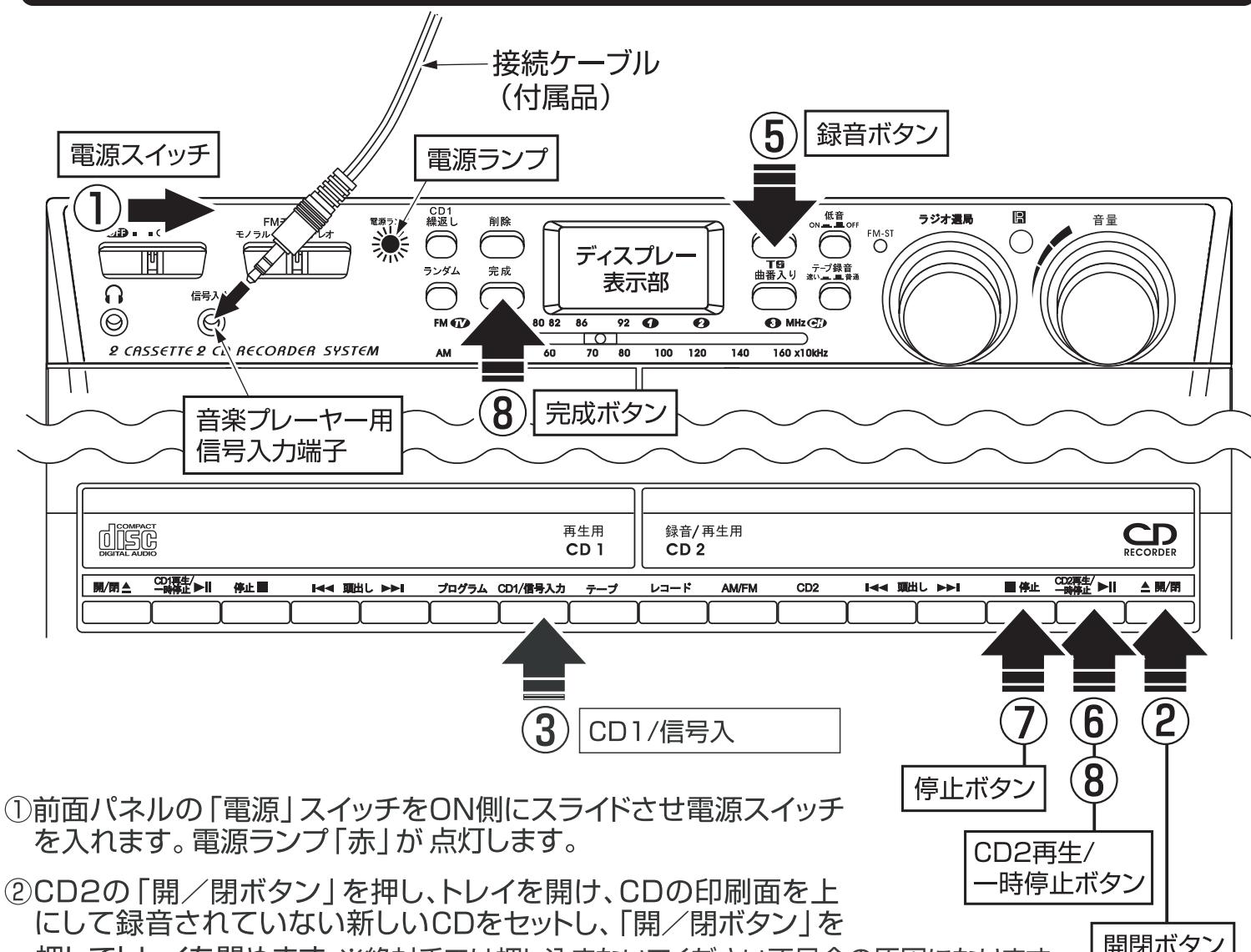
CDからCDへの録音方法

！注意 録音操作をおこなう前に必ずお読みください

- A. 録音に使用できるディスクは、音楽用CD-RとCD-RWです。
(弊社推奨メーカー 三菱・TDK・SONY)
- B. データ用CDディスク使用の場合はCD-RWのみ20倍速未満を推奨します。
但し、CDディスクのメーカーまたはCDディスクにより録音できない場合があります。
その場合は新しい別のCDディスクにて試してください
- ※テープ／レコードの場合は劣化、(キズ、ゆがみ、のび)により音飛び、リピート録音
特にアナログからデジタルへの変換できかねる音源の場合録音できない場合があります。
- ※CDの場合は読み取面／タイトル面のキズ、ゆがみ、指紋により音飛び、エラー、無録音
レンタルCDは不特定多数の方が使用のため上記を十分確認の上ご使用ください
パソコンで録音したCDの場合オーディオ形式(録音方式)で録音したCDのみ再生可能です。
MP3(圧縮録音)の再生はできません。
- C. CD-Rの場合は一切録音した記録データを削除することはできませんが完成処理をしなければ空容量までは追加録音が可能です。
- D. CD-RWの場合は繰返し録音や削除が可能ですが、完成処理後完成処理を解除することもできますが記録状態を確認しながらご使用ください。初期操作テスト用として推奨します。
- E. テープ／レコード／CDを使用するときは必ずクリーニングを行い再生してください
再生状態が悪い場合はそのままCDへコピー(録音)されます。

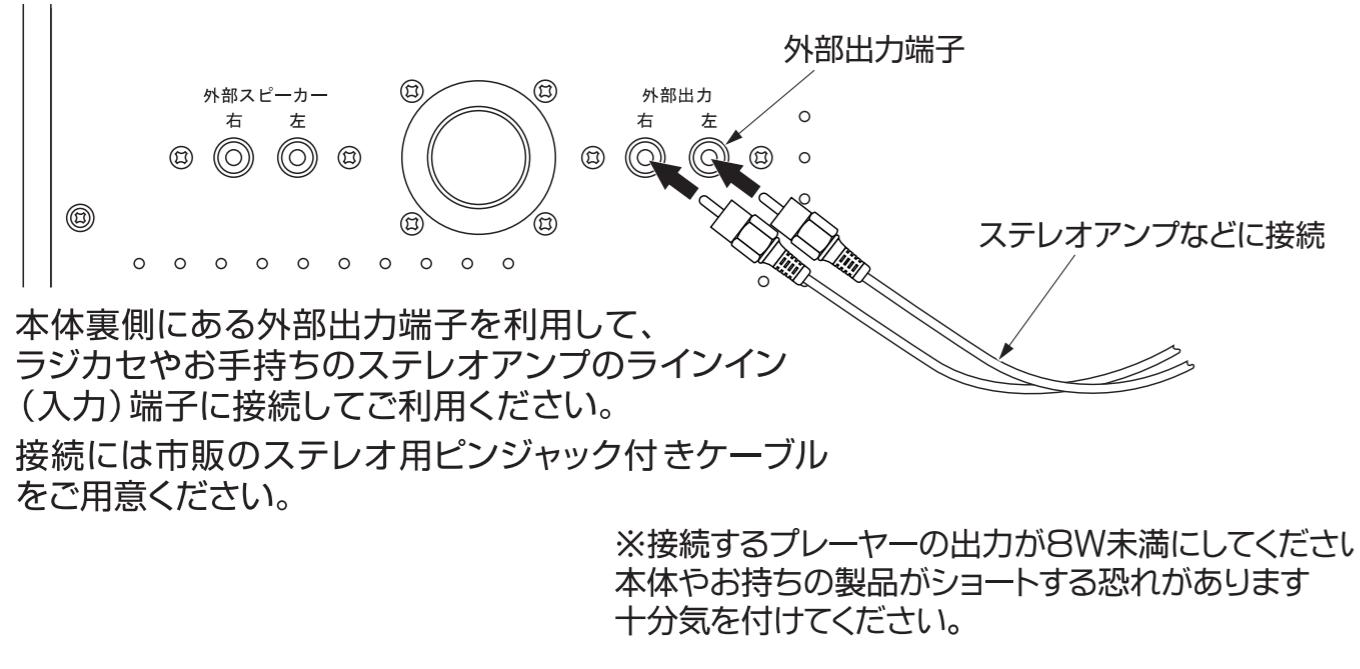
操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
1 本体裏側の「外部スピーカー」赤／白ジャックにスピーカーを差込みます		「外部出力」に差込みしても音は △ 注意 でません※必ず外部スピーカーに 差込んでください
2 コンセントを電源プラグに差込み 本体電源スイッチを入れます(電源ON)	本体正面のディスプレー が青く点灯します	スピーカーからFMラジオのノイズ音が聞 こえてきます「ザ」規定設定により電源 を入れると必ずFMラジオになります
3 CD2 のボタンを押します (右から6番目) - busy	ディスプレーに「busy」ビジー表示がでま す表示が消え「no disc」ノーディスクになる まで他のボタンを押さないでください
4 CD2 の開閉ボタンを押しトレーを開けます (右端)	CD2 NO TOC OPEN	CD2のトレーが出てきます CDをセットします △ 注意「下に読み取面／きらきら面です」
5 CD2 の開閉ボタンを押しトレーを閉じます (右端)	CD2 NO TOC - busy	トレーは必ず「開閉ボタン」で閉じてください 手で押し込みますとトレーは閉まりますが機械 内部では閉じていません 不具合の原因となります
6 必ずディスプレーの表示を確認してください「00・・」表示 が出ないCDでは録音できません	CD2 NO TOC 000 00:00	録音用空のCDが認識されるとディスプレーに 「00000000」と表示されます追加録音時は 前に録音した分秒数が表示されます

外部プレーヤーの接続とCDへの録音

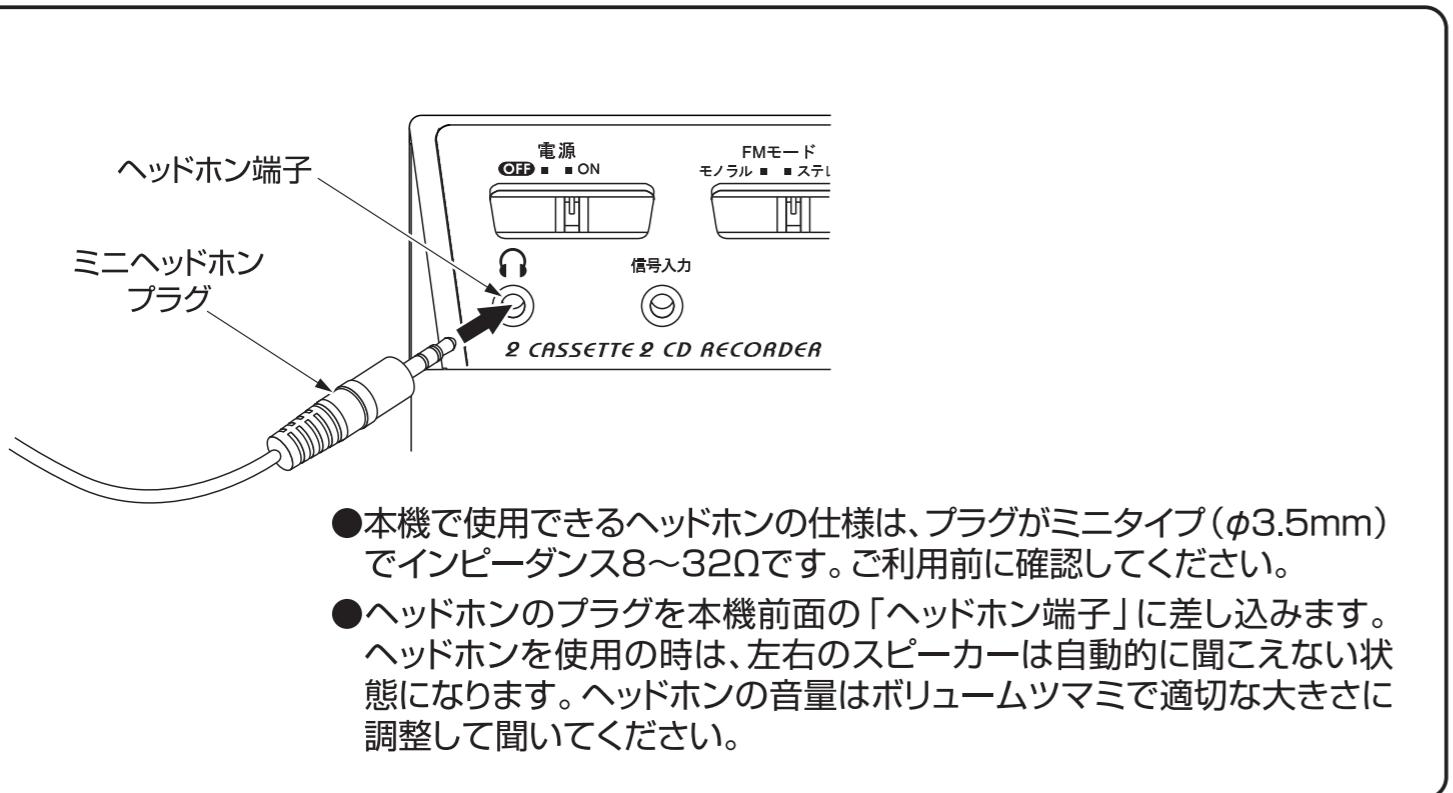


- ①前面パネルの「電源」スイッチをON側にスライドさせ電源スイッチを入れます。電源ランプ「赤」が点灯します。
 - ②CD2の「開／閉ボタン」を押し、トレイを開け、CDの印刷面を上にして録音されていない新しいCDをセットし、「開／閉ボタン」を押してトレイを閉めます。※絶対手では押し込まないでください不具合の原因になります。
 - ③「CD1信号入力ボタン」を押します。
 - ④音楽プレーヤーのヘッドホン端子に付属の接続ケーブルを差し込み、もう一方を本体の前面パネルにある信号入力端子に差し込みます。
※外部のプレーヤーを再生し音が出るかテストをお勧めします。
 - ⑤「録音ボタン」を押します。(ディスプレー表示にはCDからCDへの録音操作同様です)
 - ⑥次に「CD2再生／一時停止ボタン」を押し、音楽プレーヤーの音楽を再生すると録音が始まり、スピーカーから録音中の音が流れます。
 - ⑦録音が終わりましたら、CD2の「停止」ボタンを押してください。ディスプレーに録音された時間が表示されます。
 - ⑧これではまだ録音ができていませんので、「完成ボタン」を押し、続いて「CD2再生／一時停止ボタン」を押します。約2～3分ほどで録音が完成され、CD2のトレイが自動で開きます。
- <注意事項>
本製品プレーヤーとの外部接続に関して、お持ちのプレーヤーの出力が5W未満のプレーヤーとの接続をお願いします。それ以上の場合出力と入力の互換性によりショートする恐れがありますのでお止め下さい。
※弊社検証済プレーヤー/MDプレーヤー、ウォークマン、ミニラジカセ、携帯電話など。
※基本操作はCDからCDへの録音方法と一緒にです。

外部出力端子の接続



ヘッドホンの使用方法



操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
7 CD1 / 信号入力ボタンを押します (左から7番目)	CD1/AUX CD-R NO TOC 00	「0000000」の表示が消えます CDの記録状態により「busy」が表示されます 表示が消えるまで待ってください
8 CD1 の開閉ボタンを押しトレーを開きます (左端)	CD1/AUX CD-R NO TOC 0b	再生用のCDをセットします ※読み取面はキレイな状態でセットしてください
9 CD1 の開閉ボタンを押しトレーを閉じます (左端)	CD1/AUX CD-R NO TOC 0b	トレーは必ず「開閉ボタン」で閉じてください ディスプレイに再生用CDの曲数が表示されます ※表示されない場合は再度トレーの開閉します
10 ディスプレイ右横の「録音」ボタンを押します	CD1/AUX CD-R NO TOC 00:11	「001」の表示 ※曲番を入れる場合は録音中に曲番入りボタンを各曲間に押します(P.13をご参照)
11 CD2 の再生/一時停止ボタンを押し録音を再生します (右から2番目)	CD1/AUX CD-R NO TOC 0b 00:100:02	録音が開始するとカウントがスタートします ※必ず確認後CD1の再生ボタンを押してください
12 CD1 の再生/一時停止ボタンを押し音楽CDを再生します (左から2番目)	CD1/AUX CD-R NO TOC 01 00:100:04	スピーカーから音楽が聞こえます ※音量は規定設定されていますので好みで調整しても録音音量は変わりません
13 録音を終了する場合はCD2の停止ボタンを押し録音を停止します (右から3番目)	CD1/AUX CD-R NO TOC 0b --- 60:54	CD2 録音停止します
14 CD1の停止ボタンを押し音楽CDの再生を停止します (左から3番目)	CD1/AUX CD-R NO TOC 0b	CD1 再生用CDが停止します スピーカーから音が出なくなります
15 CD2 のボタンを押します (右から6番目)	CD2 CD-R NO TOC 00:162:05	録音された曲の曲数、分、秒数が表示されます ※曲番入りをしていない場合は「001」の中に録音した全ての曲が入ります
16 CD2 の再生/一時停止ボタンを押し録音を再生します (右から2番目)	CD2 CD-R NO TOC 00:125:02	まだ完全録音CDではありません テスト再生をし録音がされているか確認します
17 CD2 の停止ボタン押しテスト再生を停止します (右から3番目)	CD2 CD-R NO TOC 00:162:05	テスト再生を確認できましたら録音完成です CD2のみで再生することができます CD1で聞く場合は完成処理が必要です
18 「完成処理」ディスプレイ左横の「完成」ボタンを押します	F IN-d	完成処理操作後には他のプレーヤーでも再生し聴くことができます ※CD-Rは削除/追加録音が一切できません
19 CD2 の再生/一時停止ボタン押します (右から2番目)	--- 60:54	完成処理「ファイナライズ」をスタートさせます約2分ほどかかります
20 CD2 のトレーが自動で開きトレーが出てきます CD完成です	OPEN	完成処理中は絶対に他のボタンを押さないでください ※他のボタンを押すとCDは完成しません

カセットテープからCDへの録音方法

△注意 録音操作をおこなう前に必ずお読みください

A. 録音に使用できるディスクは、音楽用CD-RとCD-RWです。

(弊社推奨メーカー 三菱・TDK・SONY)

B. データ用CDディスク使用の場合はCD-RWのみ20倍速未満を推奨します。

但し、CDディスクのメーカーまたはCDディスクにより録音できない場合があります。

その場合は新しい別のCDディスクにて試してください

※テープ／レコードの場合は劣化、(キズ、ゆがみ、のび)により音飛び、リピート録音

特にアナログからデジタルへの変換できかねる音源の場合録音できない場合があります。

※CDの場合は読み取面／タイトル面のキズ、ゆがみ、指紋により音飛び、エラー、無録音

C. CD-Rの場合は一切録音した記録データを削除することはできませんが完成処理をしなければ空容量までは追加録音が可能です。

D. CD-RWの場合は繰返し録音や削除が可能ですが、完成処理後完成処理を解除することもできますが記録状態を確認しながらご使用ください。操作テスト用として推奨します。

E. テープ／レコード／CDを使用するときは必ずクリーニングを行い再生してください。

再生状態が悪い場合はそのままCDへコピー（録音）されます。

操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① 本体裏側の「外部スピーカー」赤／白ジャックにスピーカーを差込みます		「外部出力」に差込みしても音は △ 注意 でません※必ず外部スピーカーに 差込んでください
② コンセントを電源プラグに差込み 本体電源スイッチを入れます（電源ON）	本体正面のディスプレー が青く点灯します	スピーカーからFMラジオのノイズ音が聞 こえてきます「ザー」規定設定により電源 を入れると必ずFMラジオになります
③ CD2 のボタンを押します （右から6番目）	... busy	ディスプレーに「busy」ビジー表示がでま す表示が消え「no disc」ノーディスクになる まで他のボタンを押さないでください
④ CD2 の開閉ボタンを押しトレーを開けます （右端）	CD2 NO TOC OPEN	CD2のトレーが出てきます CDをセットします △ 注意「下に読み取面／きらきら面です」
⑤ CD2 の開閉ボタンを押しトレーを閉じます （右端）	CD2 NO TOC ... busy	トレーは必ず「開閉ボタン」で閉じてください 手で押し込みますとトレーは閉まりますが機械 内部では閉じていません 不具合の原因となります
⑥ 必ずディスプレーの表示を確認してください「〇〇・・」表示 が出ないCDでは録音できません	CD2 NO TOC 000 00:00	録音用空のCDが認識されるとディスプレーに 「00000000」と表示されます追加録音時は 前に録音した分秒数が表示されます
⑦ カセットのボタンを押します （左から8番目）	TAPE NO TOC	「00000000」の表示が消えます ディスプレー「TAPE」表示がでます

連続再生方法

●「DECK2」から「DECK1」への連続再生ができます。

①「DECK2」の「一時停止」ボタンと「再生」ボタンを同時に押します。

②「DECK1」の「一時停止」ボタンと「再生」ボタンを同時に押します。

③「DECK2」の「一時停止」ボタンを解除（押す）すると、「DECK2」が再生され、終了すると「DECK1」への連続再生が始まります。

④「DECK1」の再生が終了すると自動的に停止します。

テープのダビング方法

①録音しないテープ（録音用）を「DECK1」に入れ「一時停止」ボタンを押します。次に「録音」ボタンと「再生」ボタンを同時に押します。

②「DECK2」に録音されているダビングするテープ（再生用）を入れ「再生」ボタンを押します。

③「DECK1」の「一時停止」ボタンを押します。一時停止が解除されダビング録音が開始されます。

④「停止／取出し」ボタンを押すとダビング録音が終了します。

※ダビングを高速で行なうことができます。「高速ダビング」ボタンを「速い」ポジションにしてください。
(ボタンが押された状態) 普通ピードの約2~3倍で高速ダビングができます。録音失敗の原因になりますので、高速ダビング中に「高速ダビング」ボタンを操作しないでください。

※音を聴きながらダビングするときは、普通スピード「普通」でダビングしてください。

●カセットテープの取り扱いについて

●使う前にテープをチェックしてください。ゆるんでいるとからまることがあるので、片方の穴に鉛筆などを入れ、軽く巻きとり、ゆるみをなくしてから使用してください。

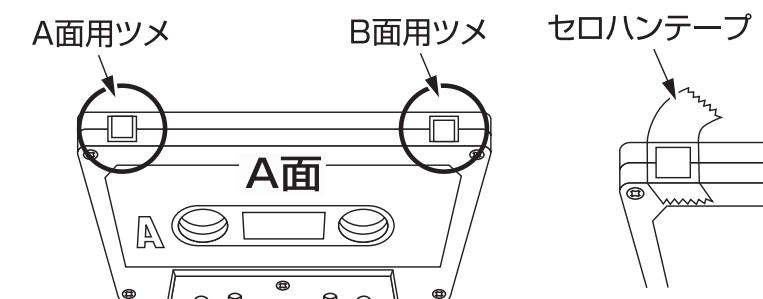
●使用するテープは、C-30、C-60、C-90タイプを使用してください。C-120タイプはテープが薄く、機器の安定性が悪いので、ご使用にならないでください。

●45分／60分テープの場合でも経年劣化している場合も同様です十分ご注意ください。
傷、ゆがみがある場合はアナログからデジタル変換しかねる場合は音飛び・Errになる恐れがあります

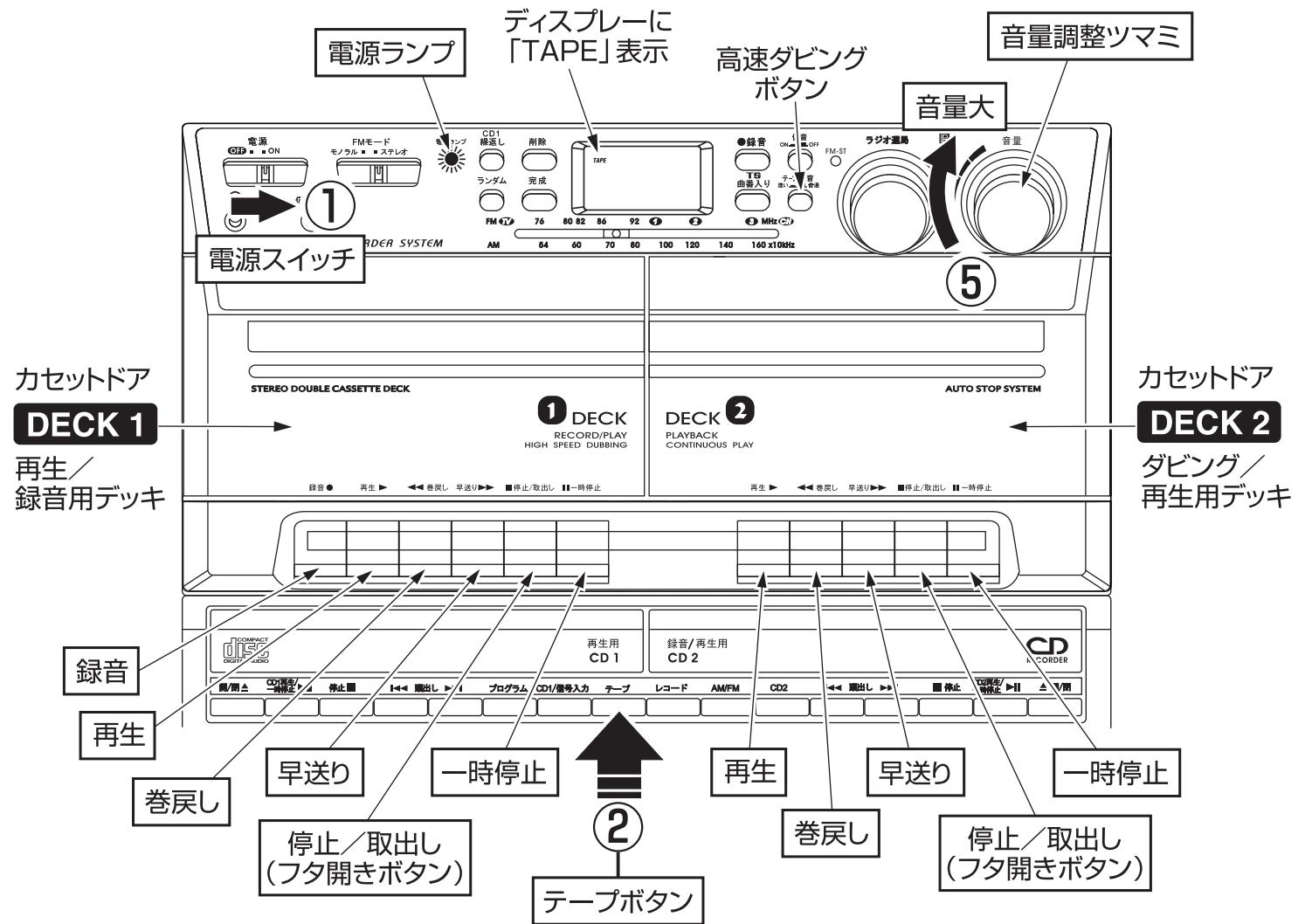
●性能維持するため、定期的にヘッドとゴムローラーの清掃をしてください。テープの酸化物やホコリなどが表面に付き、音質が悪くなったり、回転むらが起こります。専用のクリーナーでヘッドの表面、ゴムローラーの汚れを丁寧に拭き取ってください。

●誤消去防止ツメについて

誤消去防止ツメが折れていると録音ができませんので確認してください。ツメが折れている時は、セロハンテープなどで穴をふさいでください。



Wカセットプレーヤーの使い方



操作方法

- ①前面パネルの「電源」スイッチをON側にスライドさせ電源スイッチを入れます。電源ランプ「赤」が点灯します。
- ②「テープ」ボタンを押して選択します。ディスプレーに「TAPE」が表示されます。
- ③「停止／取出し」ボタンを押し、カセットドアを開け、カセットテープを正しい位置にセットします。
- ④音楽テープまたは録音済みテープを入れ「再生」ボタンを押すと、再生が始まります。
- ⑤「音量調整ツマミ」を回して、調整してください。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。
- ⑥「巻戻し」ボタンを押すと、テープを速く戻し「早送り」ボタンを押すと、テープを速く送ることができます。
- ⑦「一時停止」ボタンを押すとテープが止まり、もう一度押すと一時停止が解除され、再びテープが動き出します。
- ⑧録音するときは「DECK 1」にテープを入れ録音と再生のボタンを同時に押してください。今聞いているレコード、ラジオの録音ができます。(テープ底の誤消去防止ツメが折れていないか確認してください。)
- ⑨「停止／取出し」ボタンを押すと再生または録音が終了します。テープが最後まで行くと自動で停止します。テープを取り出すときは「停止／取出し」ボタンを奥まで押し、カセットドアを開き取り出してください。

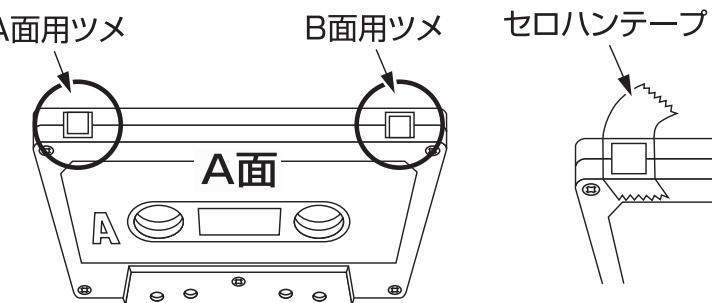
操作方法

ディスプレー表示

詳細説明

⑧ カセットDECK2の停止/取出しボタンを押し音楽テープをセットしフタを手で押し閉じます	TAPE NO TOC CD-RW	セットするテープの向きに注意 挿入方向 テープ 残量表示(左側に)
⑨ 録音ボタンを押します	II NO TOC CD-RW REC 001	ディスプレーに「REC」ディスプレーに秒数「001」表示
⑩ CD2の再生/一時停止ボタンを押します	► CD-RW REC 001 TR 000:03	録音用CDがスタートします 録音開始 秒数が動作します
⑪ カセットDECK2の再生ボタンを押します	► CD-RW REC 001 TR 03H:3	スピーカーより音が流れます録音中です 曲番を入れる場合はp.13をご参照ください
⑫ 再生が終了したらCD2の停止ボタンを押します	TAPE NO TOC CD-RW	録音終了 CDが停止します B面も録音する場合はp.10をご参照ください
⑬ カセットDECK2の停止ボタンを押し再生を止めます	TAPE NO TOC CD-RW	
⑭ CD2 のボタンを押します (右から6番目)	CD2 NO TOC CD-R 001:62:06	録音された曲の曲数、分、秒数が表示されます ※曲番入りをしていない場合は「001」の中に録音した全ての曲が入ります
⑮ CD2 の再生/一時停止ボタンを押し 録音を再生します (右から2番目)	CD2 NO TOC CD-R 001:25:02	まだ完全録音CDではありません テスト 再生をし録音がされているか確認します
⑯ CD2 の停止ボタン押しテスト再生を停止します (右から3番目)	CD2 NO TOC CD-R 001:62:05	テスト再生を確認できましたら録音完成です CD2 のみで再生することができます CD1 で聞く場合は完成処理が必要です
⑰ 「完成処理」ディスプレー左横の「完成」ボタンを押します	F IN-d	完成処理操作後には他のプレーヤーでも再生し聴くことができます ※ CD-Rは削除 / 追加録音が一切できません
⑱ CD2 の再生/一時停止ボタン 押します (右から2番目) BUSY	完成処理「ファイナライズ」 をスタートさせます 約2分ほどかかります
⑲ CD2 のトレーが自動で開きトレーが 出できます CD完成です	OPEN	完成処理中は絶対に他のボタンを押さない でください ※他のボタンを押すとCDは完成しません

誤消去防止ツメについて



テープの「ツメ」部が折れないと録音ができません。
セロテープなどで穴をふさぎセットしてください。
カセットテープは90分以上のものはテープそのものが薄いので切れやすく、絡まる場合がありますので使用はお止め下さい。
尚、45分/60分テープの場合でも経年劣化している場合も同様です十分ご注意ください。
傷、ゆがみがある場合はアナログからデジタル変換しかねる場合は音飛び・Errになる恐れがあります。

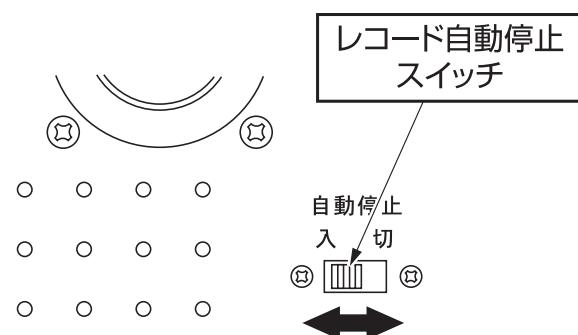
レコードからCDへの録音方法

△ 注意 録音操作をおこなう前に必ずお読みください

- A. 録音に使用できるディスクは、音楽用CD-RとCD-RWです。
(弊社推奨メーカー 三菱・TDK・SONY)
- B. データ用CDディスク使用の場合はCD-RWのみ20倍速未満を推奨します。
但し、CDディスクのメーカーまたはCDディスクにより録音できない場合があります。
その場合は新しい別のCDディスクにて試してください
- ※テープ／レコードの場合は劣化、(キズ、ゆがみ、のび)により音飛び、リピート録音
特にアナログからデジタルへの変換できかねる音源の場合録音できない場合があります。
- ※CDの場合は読み面／タイトル面のキズ、ゆがみ、指紋により音飛び、エラー、無録音
- C. CD-Rの場合は一切録音した記録データを削除することはできませんが完成処理をしなければ空容量までは追加録音が可能です。
- D. CD-RWの場合は繰返し録音や削除が可能です。完成処理後完成処理を解除することもできますが記録状態を確認しながらご使用ください。操作テスト用として推奨します。
- E. テープ／レコード／CDを使用するときは必ずクリーニングを行い再生してください。
再生状態が悪い場合はそのままCDへコピー（録音）されます。
- F. 本体レコードプレーヤーはLP盤規定設定されております。本体裏面の自動停止スイッチを「入」にすると曲が終了時自動で停止しますEP盤／ドーナツ盤の録音状態によって最後まで聞けない場合は自動停止スイッチを「切」にしてください。※曲が終わりましたらご自身で針を戻してください。

操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
① 本体裏側の「外部スピーカー」赤／白ジャックにスピーカーを差込みます		「外部出力」に差込みしても音は△ 注意 でません※必ず外部スピーカーに差込んでください
② コンセントを電源プラグに差込み 本体電源スイッチを入れます（電源ON）	本体正面のディスプレーが青く点灯します	スピーカーからFMラジオのノイズ音が聞こえます「サー」規定設定により電源を入れると必ずFMラジオになります
③ CD2 のボタンを押します (右から6番目)	… … - bUJG4	ディスプレーに「busy」ビジー表示がでます表示が消え「no disc」ノーディスクになるまで他のボタンを押さないでください
④ CD2 の開閉ボタンを押しトレーを開きます (右端)	CD2 NO TOC CD-R OPEN	CD2のトレーが出てきます CDをセットします △ 注意「下に読み面／きらきら面です」
⑤ CD2 の開閉ボタンを押しトレーを閉じます (右端)	CD2 NO TOC CD-R … … - bUJG4	トレーは必ず「開閉ボタン」で閉じてください 手で押し込みますとトレーは閉まりますが機械内部では閉じていません不具合の原因となります
⑥ 必ずディスプレーの表示を確認してください「〇〇・・」表示が出ないCDでは録音できません	CD2 NO TOC CD-R 000 00:00	録音用空のCDが認識されるとディスプレーに「00000000」と表示されます追加録音時は前に録音した分秒数が表示されます

●レコード自動停止スイッチの使い方（後側にあります）

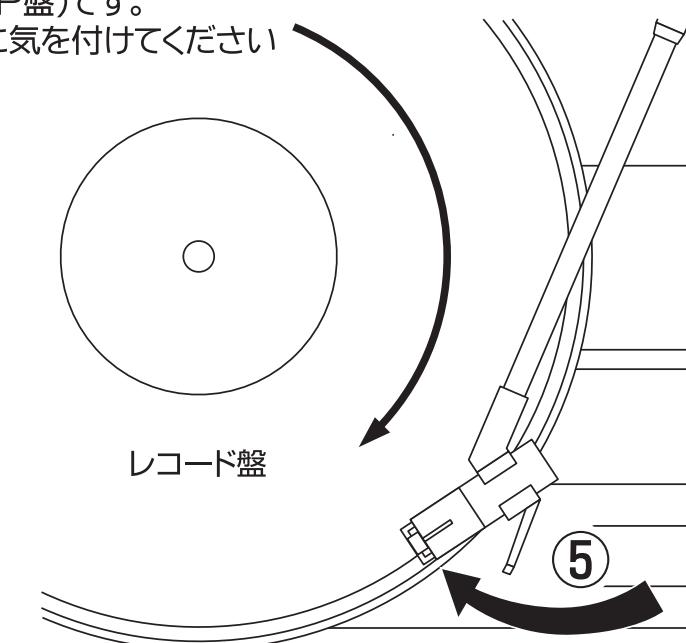
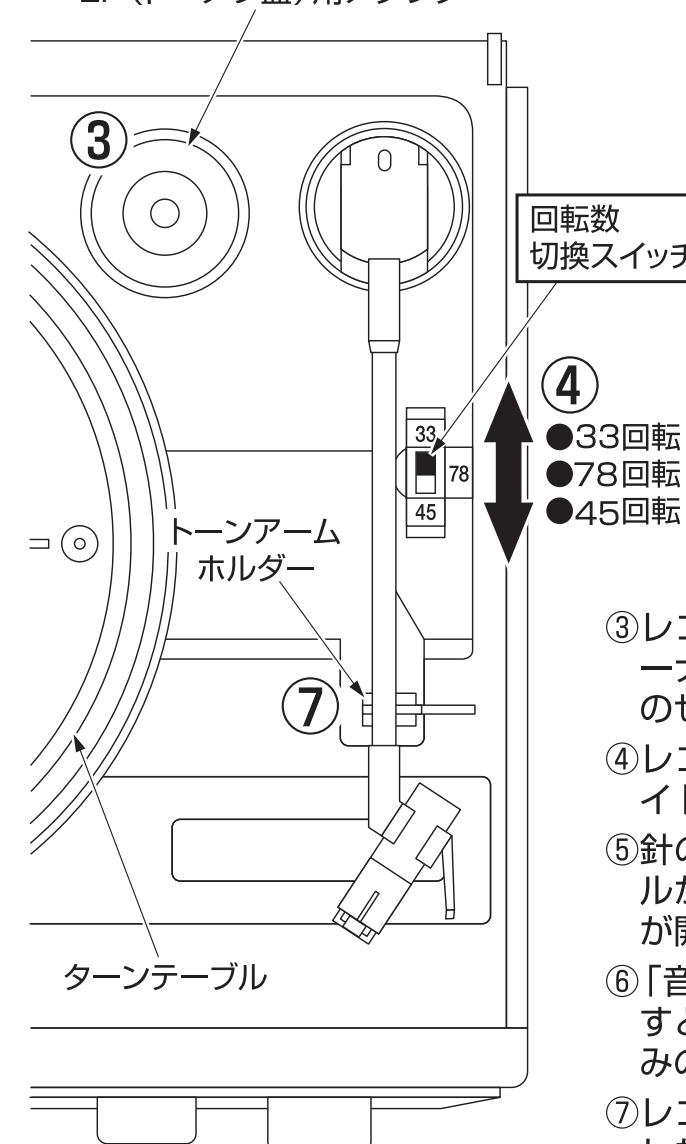


△ 注意

通常の使用には、本体後側にあるレコード自動停止スイッチを「入」側にしてください。演奏が終わるとターンテーブルは自動に止まります。しかし、EP(ドーナツ盤)や、SP盤を聞くときは、レコード盤の種類により、途中でレコードが止まることがありますので、レコード自動停止スイッチは「OFF」側でご使用ください。

※レコード針の交換目安は100時間/100枚(LP盤)です。
購入時には針が付いていますので針先には十分に気を付けてください

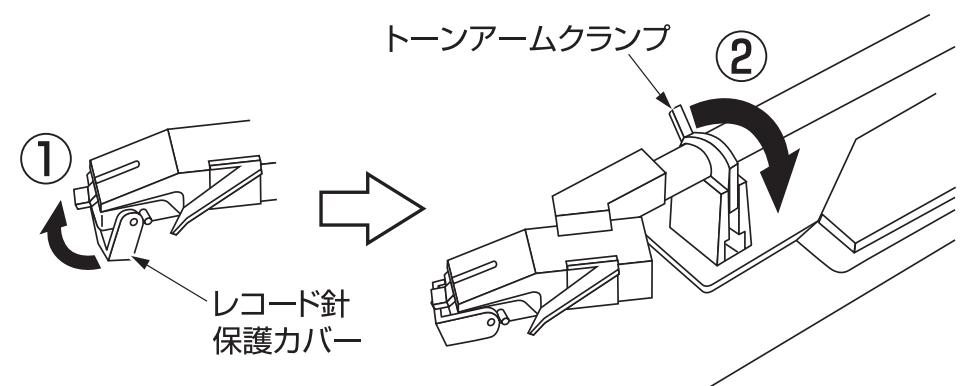
EP(ドーナツ盤)用アダプター



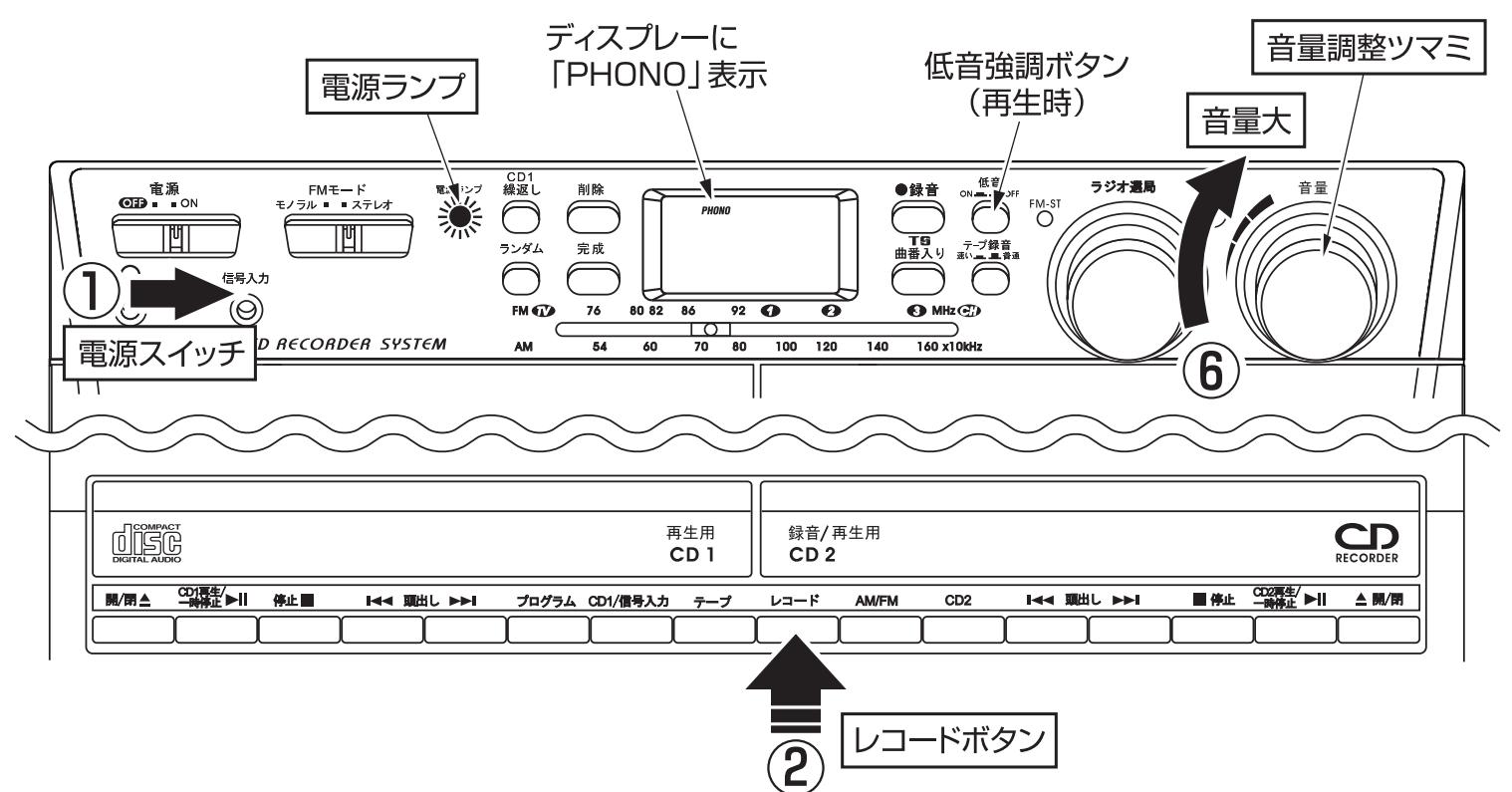
- ③ レコードをターンテーブルにのせます。EPレコード(ドーナツ盤)を聞くときは、センター軸に「アダプター」をのせてレコードをセットしてください。
- ④ レコードの種類に応じて、「回転数切換」スイッチをスライドさせ、スピードを合わせます。
- ⑤ 針のついたヘッドをレコードに近づけるとターンテーブルが回転しますので、静かに針をのせてください。演奏が開始されます。
- ⑥ 「音量調整ツマミ」を回して、調整してください。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなりますので好みの音量でお聴きください。
- ⑦ レコードの演奏途中でストップしたい場合や演奏が終したら、レコード盤を傷つけないように静かに針を持ち上げ、トーンアームホルダーに戻します。

レコードプレーヤーの使い方

●ストッパーと針保護カバーを外します。



- ①レコード針保護カバーを下側から前側に起こします。
②トーンアームクランプを外してください。



- ①前面パネルの「電源」スイッチをON側にスライドさせ電源スイッチを入れます。
電源ランプ「赤」が点灯しディスプレイが青く点灯します。
②「レコード」ボタンを押します。ディスプレーに「PHONO」が表示されます。
※レコード針の交換目安：約100時間 / LP盤100枚 ※使用年数にもよります。
※交換針は繊細ですので針先には十分に注意をしていただき交換してください。
※アームは自動的には戻りません、再生が終了したらご自身でアームをお戻しください。
※レコード盤は必ずクリーニングをし、ホコリなどを取除いてからターンテーブルにおいてください。
傷やホコリなどがあると録音時の音飛びなど録音不具合の原因になります。

操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
⑦ レコード のボタンを押します (右から8番目)	PHONO NO TOC CD-R	「0000000」の表示が消えます ディスプレイ「PHONO」表示がでます
⑧ ターンテーブルにレコードをのせます	PHONO NO TOC CD-R	レコードは必ずクリーニングしてのせてください 「傷、ホコリ」などがあると録音時の音飛びの原因になります
⑨ 本体裏側の「自動停止スイッチ」を選択します LP盤「入」 EP盤「切」にします	PHONO NO TOC CD-R	※EP／ドーナツ盤は自動では止まりません
⑩ ディスプレー右横の 「録音」ボタンを押します	PHONO NO TOC CD-R (REC) 00:11	「001」の表示 ※曲番を入れる場合は録音中に曲番入りボタンを各曲間に押します(P.13をご参照)
⑪ CD2 の再生/一時停止ボタンを押し 録音を再生します (右から2番目)	NO TOC CD-R (REC) 00:100:0E	録音が開始するとカウントがスタートします
⑫ カウントが動いたらレコードに針をのせます※カウントが動く前に針をのせると曲の頭が切れます ご注意ください	NO TOC CD-R (REC) 00:100:04	スピーカーから音楽が聞こえます ※音量は規定設定されていますので好みで調整しても録音音量は変わりません
⑬ A面の録音終了引続きB面を録音する場合 CD2 の再生 / 一時停止ボタンを押します (右から2番目)	NO TOC CD-R --- BUSY	録音を一時的に停止します「busy」が消えると次の曲番が表示されます「002」
⑭ レコードから針をアームに戻しB面にして ⑪番から同じ操作を繰返しあげてください	PHONO CD-R NO TOC	※EP／ドーナツ盤は自動では止まりません
⑮ B面の録音終了(曲の再生が終了)しましたら CD2 の停止ボタンを押し 録音を停止します (右から3番目)	PHONO CD-R NO TOC	完全に録音を停止します
⑯ CD2 のボタンを押します (右から6番目)	CD2 NO TOC CD-R 00:162:0E	録音された曲の曲数、分、秒数が表示されます ※曲番入りをしていない場合は「001」の中に録音した全ての曲が入ります
⑰ CD2 の再生/一時停止ボタンを押し 録音を再生します (右から2番目)	CD2 NO TOC CD-R 00:125:0E	まだ完全録音CDではありません テスト再生をし録音がされているか確認します
⑱ CD2 の停止ボタン押しテスト再生を停止します (右から3番目)	CD2 NO TOC CD-R 00:162:05	テスト再生を確認できましたら録音完成です CD2 のみで再生することができます CD1 で聞く場合は完成処理が必要です
⑲ 「完成処理」ディスプレー左横の 「完成」ボタンを押します	FIN-d	完成処理操作後には他のプレーヤーでも再生し聽くことができます ※CD-Rは削除 / 追加録音が一切できません
⑳ CD2 の再生/一時停止ボタン 押します (右から2番目)	--- BUSY	完成処理「ファイナライズ」をスタートさせます 約2分ほどかかります
㉑ CD2 のトレーが自動で開きトレーが 出でます CD完成です	OPEN	完成処理中は絶対に他のボタンを押さないでください ※他のボタンを押すとCDは完成しません

簡単録音操作方法 (A面とB面を一枚のCDに録音)

カセットからCD／レコードからCD

操作方法

ディスプレー表示

詳細説明

① 電源スイッチをONにして電源を入れます	青色点灯	電源ランプ「赤」が点灯 ディスプレーが青色に光ります
② CD2ボタンを押し選択します	--- busy	「busy」表示が消え 「no disc」表示確認 後③へ
※busyの表示時は絶対に他のボタンを押さないでください。(作動準備中の意味です)		
③ CD2の開/閉ボタンを押しCD2にCDを入れます	CD2 NO TOC CD-RW 00000000	ディスプレーに「CD-R/RW」表示 NO TOC表示(録音可能なCDの意味)

※CDトレーを閉めるときトレーを手で押し込まないでください。読み不具合になります。

必ず開閉ボタンで閉めてください。

※空のCDを入れ「00000000」の表示が出ない場合は再度操作を行なってくださいそれで
も表示されない場合は別のCDで試してください。

④ レコードまたはテープボタンを押します	PHONO NO TOC CD-RW	ディスプレーにレコード「PHONO」 テープ「TAPE」表示
⑤ レコードの場合ターンテーブルにレコードをのせます	PHONO NO TOC CD-RW	LP盤使用時は裏面スイッチを「入」にしてください(自動停止機能)
⑥ ●録音ボタンを押します	NO TOC CD-RW REC 001	ディスプレーに「REC」 ディスプレーに秒数「001」表示
⑦ CD2再生/一時停止ボタンを押します	▶ CD-RW REC 001 003 1 3	ディスプレーの秒数スタート 録音開始

※必ずディスプレー表示の秒数カウントが動いてからレコードに針をのせてください。
秒数カウントが動く前に針をのせると曲の頭が切れますのでご注意ください。

⑧ レコード:針をのせます カセット:テープを挿入します	▶ CD-RW REC 001 003 1 3	スピーカーより 録音中の音が流れます
---------------------------------	----------------------------	-----------------------

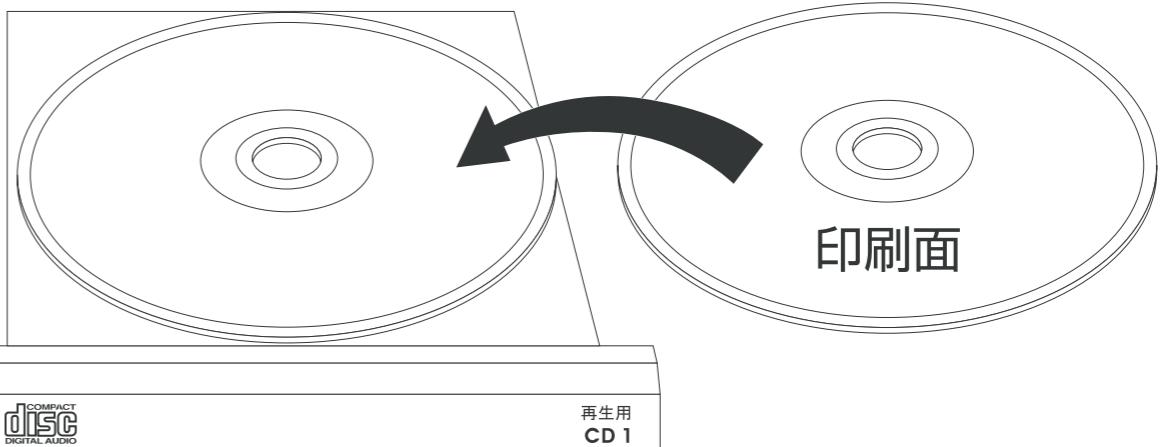
※テープの場合タルミをなくし頭出しにします。

⑨ A面の曲終了時にCD2再生/一時停止ボタンを押します	II NO TOC CD-RW 001 003 1 3	録音を一時的に停止させます
⑩ レコード:針を戻します カセット:テープを取り出します		レコード:B面に裏返します又は 別のレコードに交換します

※カセットをB面するか、または別のカセットを用意します。必ず、挿入前に曲の頭にして下さい
用意だけでこの時点では挿入/再生しません。

CDをトレーにセットする方法

「きらきら」光っている面を必ず下にしてください

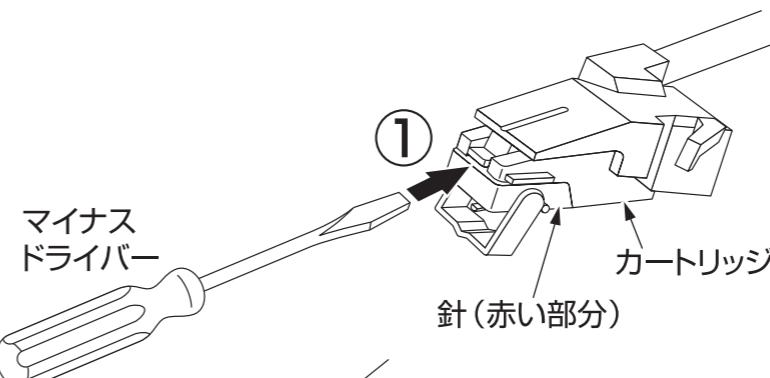


- MP3(非可逆圧縮)再生できません。
- CDを逆さまにセットしますと読み取れません。
- CD-G再生できません。
- 「きらきら面」読み取面を必ずクリーニングしてセットします
傷、指紋、汚れがあると読み取れません。

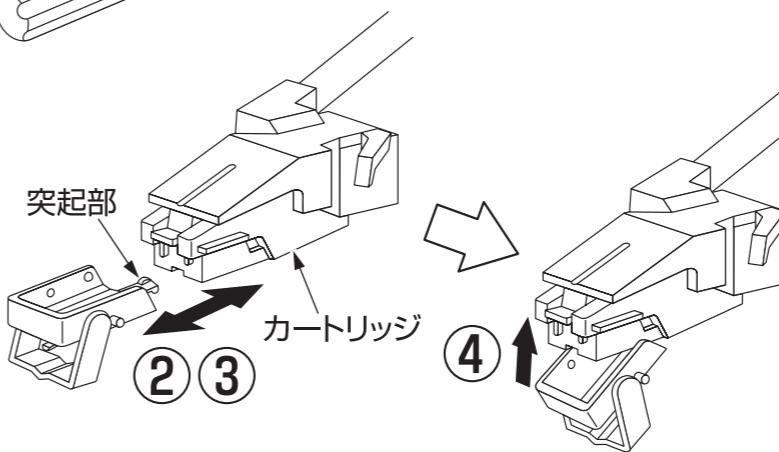
レコード針の交換方法



- レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いは十分注意してください。
- 針先の耐久時間は、約100時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。



①マイナスドライバーなどをカートリッジと針の部分(赤い部分)の上のすき間に差し込み、軽く引き下げるとはずれます。



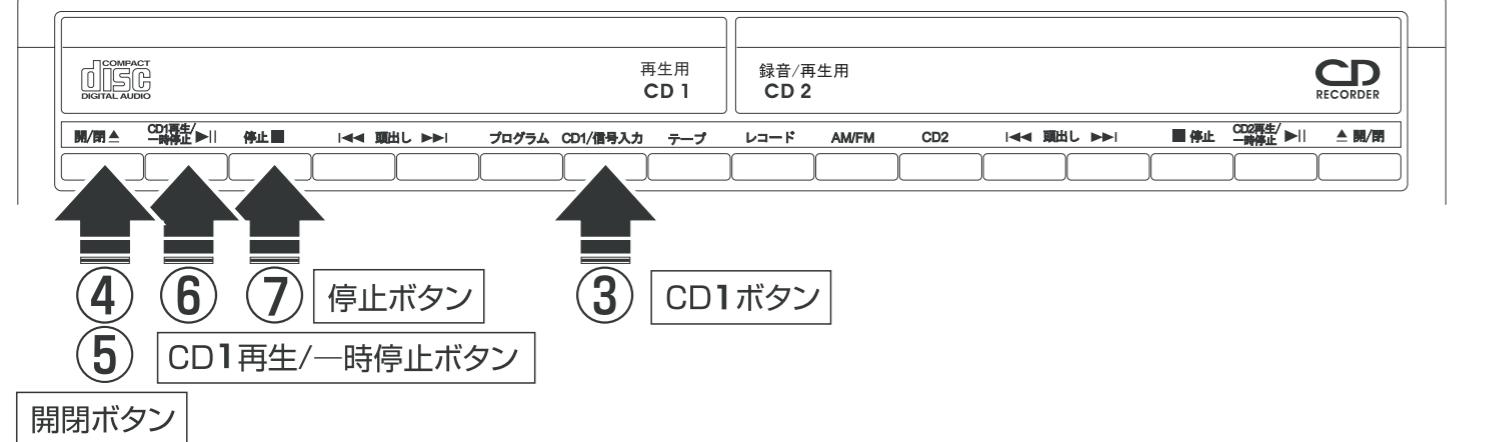
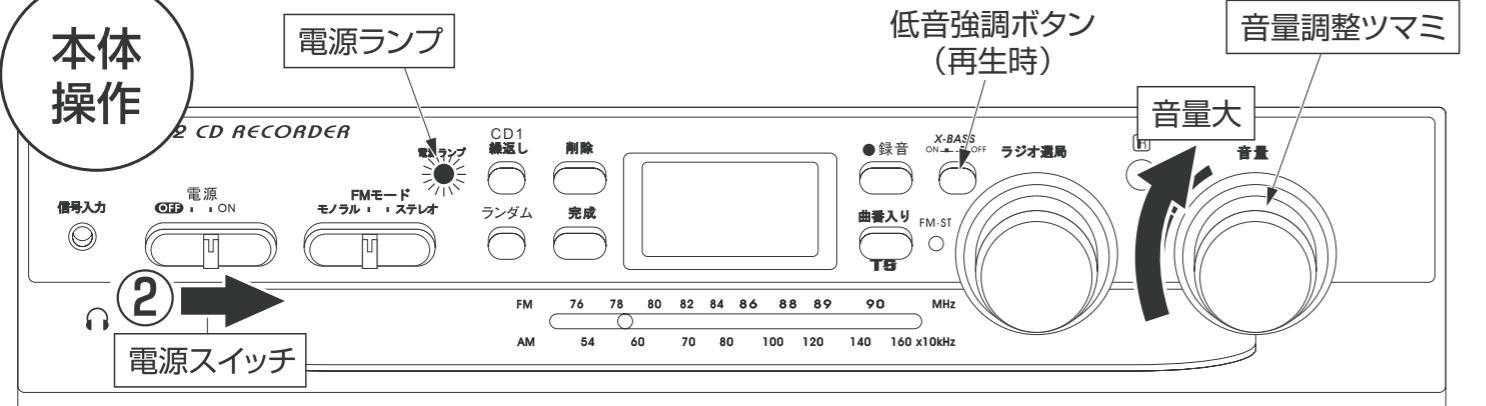
②針の赤い部分を手前に引き出し、外します。

③新しい針を傷つけないように、針の後の突起部を注意しながらカートリッジに差し込みます。

④針を上部に押込むと「カチッ」となります。

CDプレーヤーの再生方法

本体操作



操作方法

ディスプレー表示

詳細説明

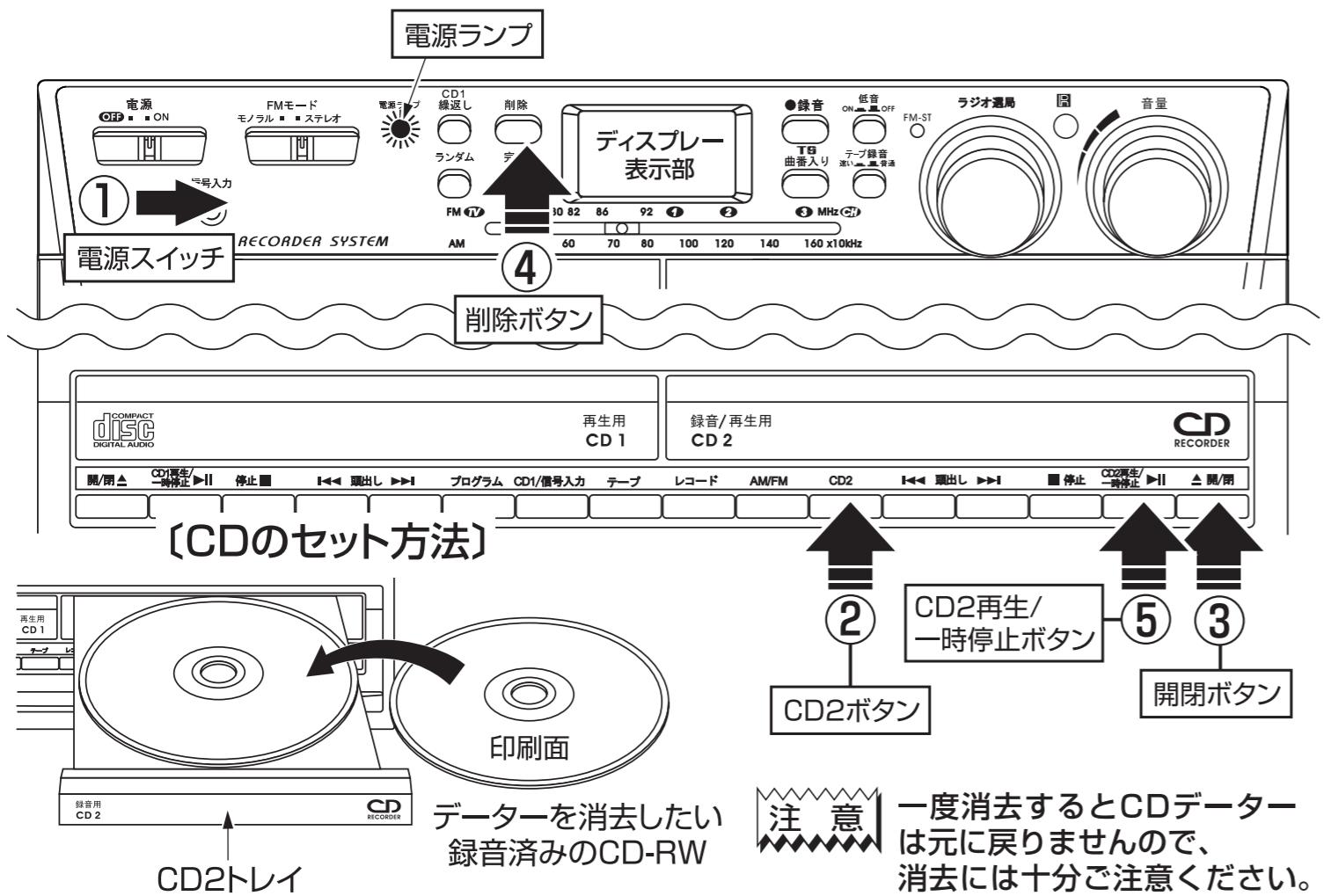
1	本体裏側の「外部スピーカー」赤／白ジャックにスピーカーを差込みます		「外部出力」に差込みしても音はでません。必ず外部スピーカーに差込んでください。
2	コンセントを電源プラグに差込み 本体電源スイッチを入れます（電源ON）	本体正面のディスプレーが青く点灯します	スピーカーからFMラジオのノイズ音が聞こえてきます。「ザー」規定設定により電源を入れると必ずFMラジオになります
3	CD1 / 信号入力ボタンを押します (左から7番目)	CD1/AUX 00	CDの記録状態により「busy」が表示されます 表示が消えるまで待ってください
4	CD1 の開閉ボタンを押しトレーを開けます (左端)	CD1/AUX 00	再生用のCDをセットします ※読み取り面はキレイな状態でセットしてください
5	CD1 の開閉ボタンを押しトレーを閉じます (左端)	CD1/AUX 0b	トレーは必ず「開閉ボタン」で閉じてください ディスプレーに再生用CDの曲数が表示されます ※表示されない場合は再度トレーの開閉をします
6	CD1 の再生／一時停止ボタンを押し 音楽CDを再生します（左から2番目）	CD1/AUX 01	スピーカーから音楽が聞こえます ※音量は規定設定されていますので好みで調整しても録音音量は変わりません
7	CD1 の停止ボタンを押し音楽CDの再生を停止します（左から3番目）	CD1/AUX 0b	CD1 再生用CDが停止します スピーカーから音が出なくなります

注意 録音に使用できるディスクは、音楽用CD-RとCD-RWです。CD-Rに録音したデータは消すことはできません。CD-RWは追加録音や消したりすることができます。CD-R／CD-RWディスクは製造メーカーまたは、CDディスクによっては録音できない場合があります。特にテープ・レコードからの（アナログ製品）録音の場合にはCDメディア（記録ソフト）の特性などにより録音・再生できないことがあります。

操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
11 CD2再生／一時停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW 02 001 03H 3	秒数カウントが動き録音が再開されます
12 レコード：針をのせます カセット：テープを挿入します	▶ NO TOC CD-RW 02 001 TR 03H 3	スピーカーより録音中の音が流れます
※この後追加録音をされる場合は⑨からの操作を繰り返し行ってください。 全ての録音を終了する場合は⑬から操作を行なってください。		
13 CD2 ■停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW 02 002 33:23	録音終了CDが停止します 曲数が表示
14 レコード：針を戻します カセット：テープを取出します	NO TOC CD-RW 02 002 TR 33:23	録音された時間が表示 まだ完全には録音されていません
15 CD2ボタンを押し選択します	NO TOC CD-RW 002 33:23	仮録音された曲を再生できるか テストしてください
16 CD2再生／一時停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW 002 33:23	スピーカーより録音した音が出ます 確認は1曲でも全てでも結構です
17 CD2 ■停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW 002 33:23	再生を確認できましたら下記の ファイナライズ処理を行ないます
18 完成ボタンを押します	FIN-d	ディスプレーに「FIN-d」表示
19 CD2再生／一時停止ボタンを押します	--- 60:54	ファイナライズ（完成）作業中 2～3分かかります
20 自動的にトレイが開きます	OPEN	CD完成です

注意 本機で完成処理（ファイナライズ）をしないと他のプレーヤーまたは、本機CD1で再生することはできません。CD2のみ再生可能です。
レコード、カセット、CDの再生時問題なく音声が出ていても録音しかねる音源があった場合、音飛びして録音される場合があります。必ず記録面（キラキラ面）の汚れ、をふき取り使用ください。
尚、レンタルCD等は不特定多数の方の使用で大変傷が多くみられる場合があり上記の症状になるケースがあります。特にカセット、レコードはアナログ音源をデジタル音源に変換する上で録音
※自動的に曲番は入りません。録音最中に「曲番入りボタン」を曲が終わるごとに押してください。タイミングによっては次の曲の頭が切れる場合がありますのでご注意ください。

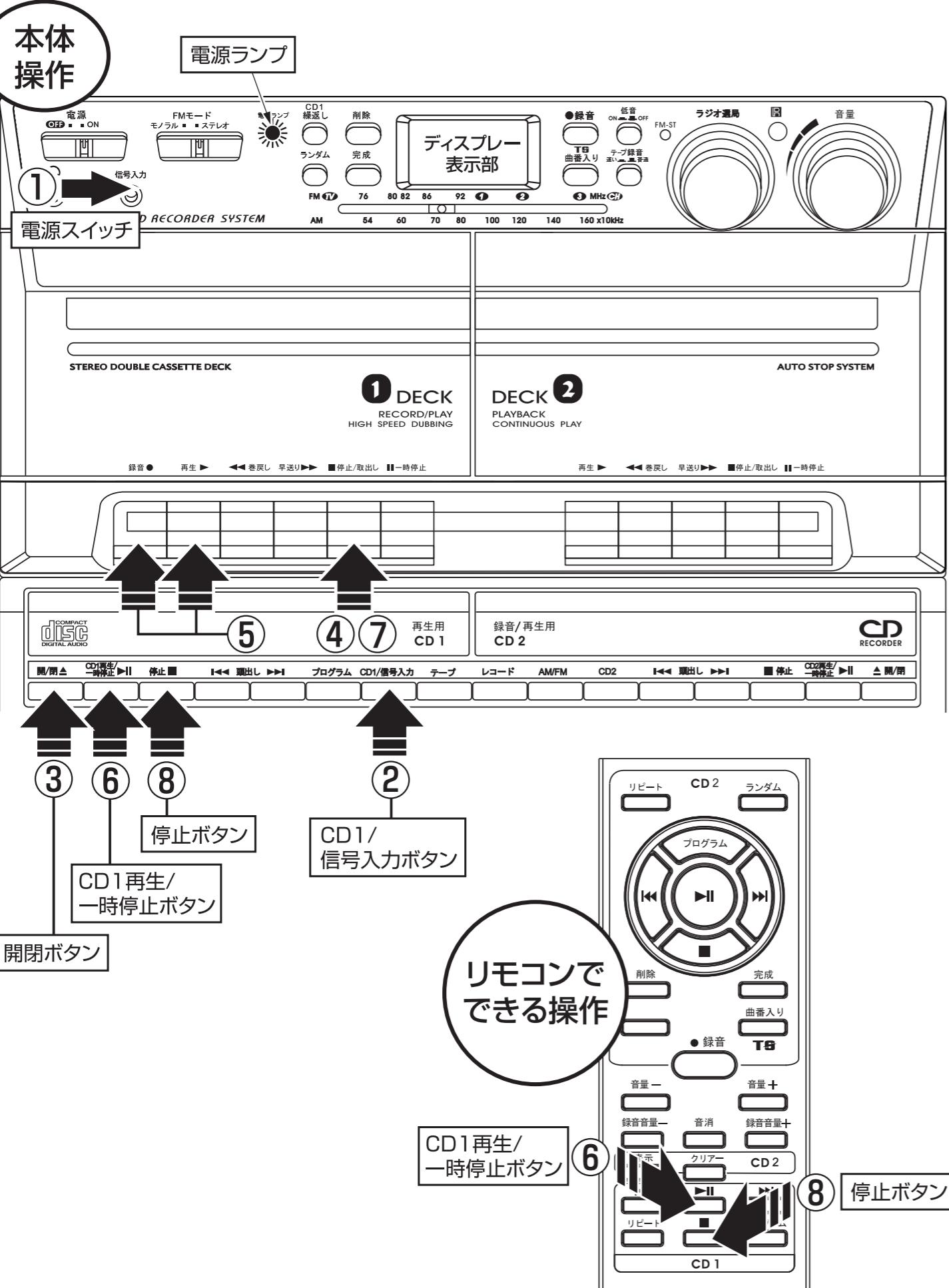
CD-RWの曲データーの消去



操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① 電源スイッチをONにして電源を入れます	青色点灯	電源ランプ「赤」が点灯 ディスプレーが青色に光ります
② CD2ボタンを押し選択します	NO DISC	「busy」表示が消え 「no disc」表示確認 後③へ
③ CD2の開/閉ボタンを押しCD2にCDを入れます	CD2 CD-RW 000:00:25	ディスプレーに「CD-RW」表示 録音された曲数、秒数が表示
④ 削除ボタンを押します	EP 05	最後に録音した曲のみ削除されます ※いくつか削除する場合は繰返し操作必要です
	EP ALL	左の画面はすべてのデータの削除になります
⑤ CD2再生/一時停止ボタンを押します	--- busy	消去が開始されます
⑥ 消去完了	000:00:00	2~3分かかり消去が完了します 画面に「00:00」が表示されます

操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① 電源スイッチをONにして電源を入れます	FM	電源ランプ「赤」が点灯 (電源を入れるとFMラジオになります)
② CD1/信号入力ボタンを押し選択します	CD1/AUX	「CD1/AUX」表示を確認 その後③へ
③ CD1の開/閉ボタンを押しトレーが出ましたら音楽CDをセットし、開/閉ボタンを押し、トレーを閉じます	CD1/AUX 10	*絶対にトレーを手で押込まないでください。 音楽CDが認識されると曲数が表示されます。 (例：10曲入り)
④ カセットDECK1の停止/取出しボタンを押し、録音用のカセットテープをセットし、フタを手で押し閉じます	CD1/AUX 10	セットするテープの向きに注意 挿入方向 テープ 残量表示(左側に)
⑤ カセットDECK1の録音と再生ボタンと一緒に押します		テープの「たるみ」、「120分以上」テープはの絡みや切れる原因になりますので充分にご注意ください 録音されるテープがスタートします
⑥ CD1のCD1再生/一時停止ボタンを押します	CD1/AUX 10▶	スピーカーより音が流れます 録音中です
⑦ 曲が終わりましたらカセットDECK1の停止/取出しボタンを押し録音を停止します	CD1/AUX 10▶	B面にも録音する場合は ⑥CD1のCD1再生/一時停止ボタンで再生中の曲を一時停止しカセットを取り出し裏返しB面にしてください
⑧ CD1の停止ボタンを押し音楽CDの再生を停止します	CD1/AUX 10	続けて録音する場合は ⑤～⑧をくり返し操作してください

CDからカセットテープへの録音方法



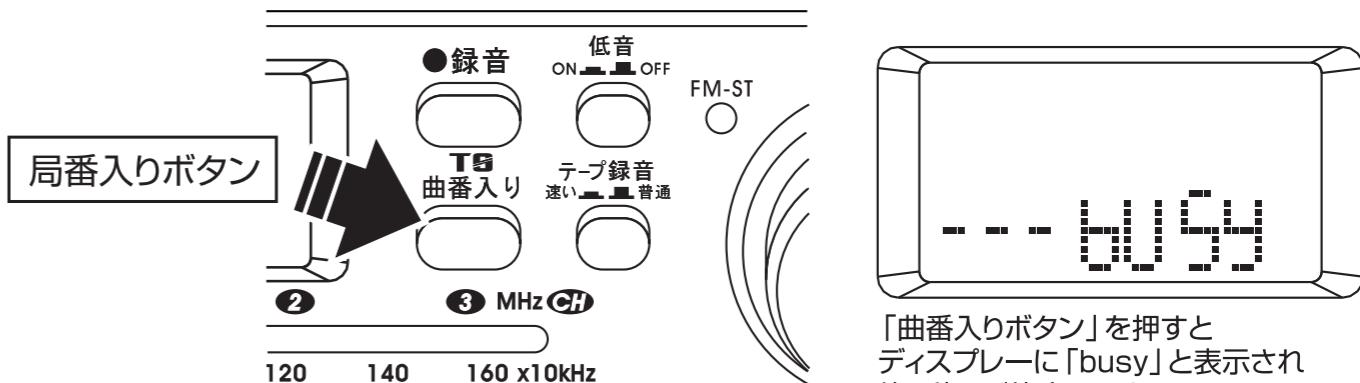
曲番入り/トラックNo./頭出しの入れ方

本製品は機能上自動的に、曲番入り/トラックNo./頭出しが入りません。

本体正面のディスプレイ右横「曲番入り」 TS ボタンを押し手動で行う必要があります。

下記手順にて操作をしてください。

- レコード、カセットテープ、CDからCDへの録音中に操作を行ないます。



「曲番入りボタン」を押すと
ディスプレーに「busy」と表示され
約3秒ほど停止します。

- 一曲が終了後、約1秒後に「曲番入りボタン」(TS)を一回押してください。ディスプレーに「busy」と表示され、再生されているレコード、テープが停止します。(約3秒) この間に曲番(トラックNo.)が入ります。
- 約3秒後に自動的にレコード、テープが再生し、録音が再開されます。
- 「曲番入りボタン」(TS)を押しますとディスプレー表示の曲番カウントが変わります「01、02~」
- 但し、最初の一回だけで自動で全ての曲に曲番は入りません。曲番を入れたい曲と曲の間にくりかえし「曲番入りボタン」(TS)を押し、操作してください。

ポイント 曲と曲に曲間がありませんと次の曲の頭が切れる恐れがありますので、ご注意ください。

※CDからCDへの曲番(トラックNo.)を入れる場合は一曲が終了後、約1秒後に「曲番入りボタン」(TS)を一回押してください。上記のレコード、テープのように自動的にCDが停止、再生はされません。曲と曲に曲間が約3秒以上ありませんと、次の曲の頭が切れる場合がありますのでご注意ください。

※タイトル／アーティスト名などは入りません。

①録音終了時にCD 2の停止ボタンを押して録音を止めます。

②CD 2のボタンを押し「busy」の表示が消えると録音された分／秒数、が表示されます。

③仮再生(録音された曲の再生)をおこなっていただき、録音されていればCD 2の停止ボタンを押します。

※録音されていなかった場合は再度上記事項を確認し操作をおこなってください。

④⑤最初の分／秒数表示に戻りましたら、完成ボタンを押します「fin-d」表示されます。

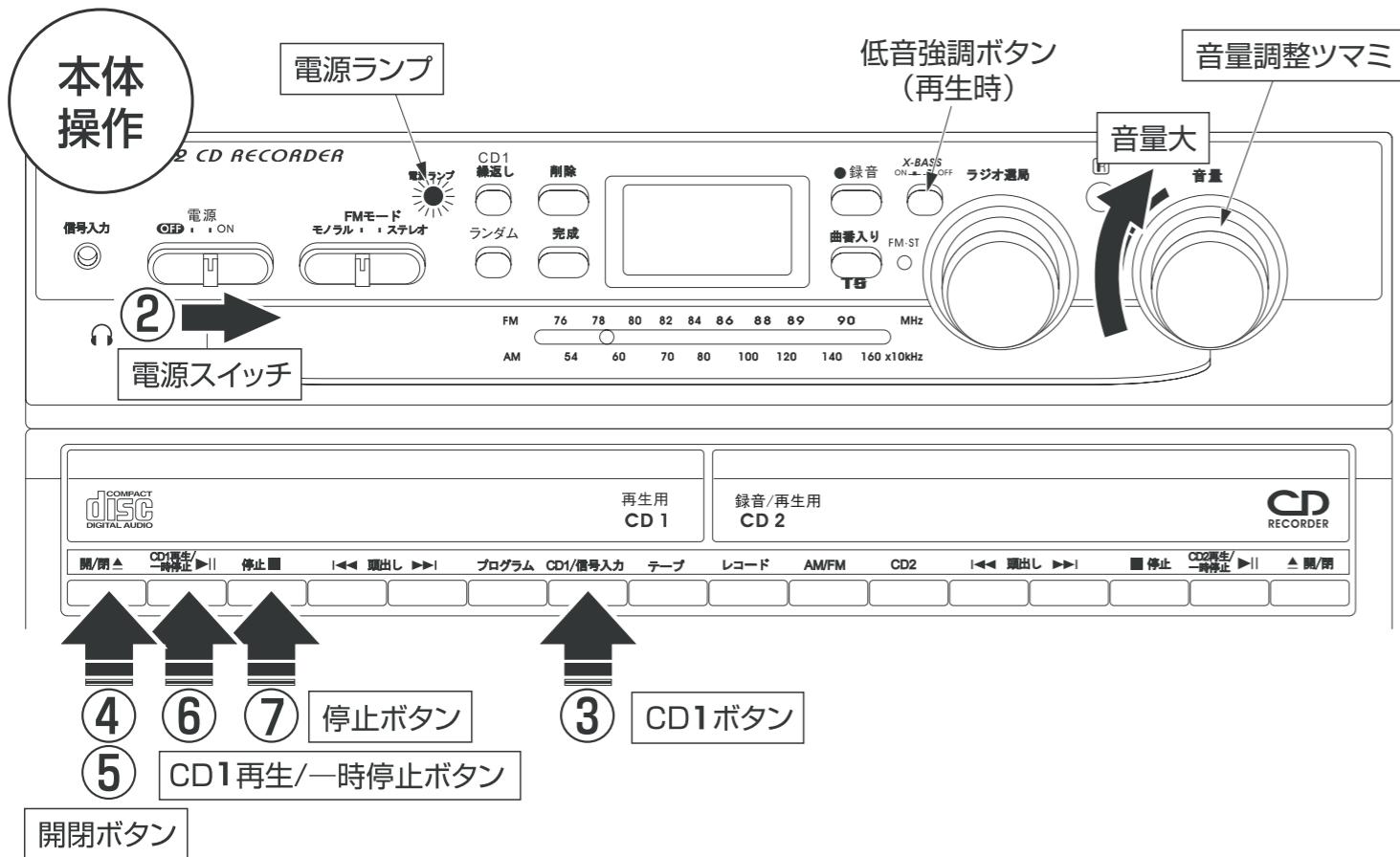
⑥CD2の再生一時停止ボタンを押します「busy」表示されます。

⑦約2~3分で自動的にトレーが出てきます。CD完成です。

※完成処理(ファイナライズ)をおこなわないと、このプレーヤーのCD 1または他のプレーヤーでの再生はできません。このプレーヤーのCD 2のみ再生可能です。

上記①～⑥の操作は取扱説明書のカセット、レコード、CDからCDへの操作「完成処理」方法と一緒にです。

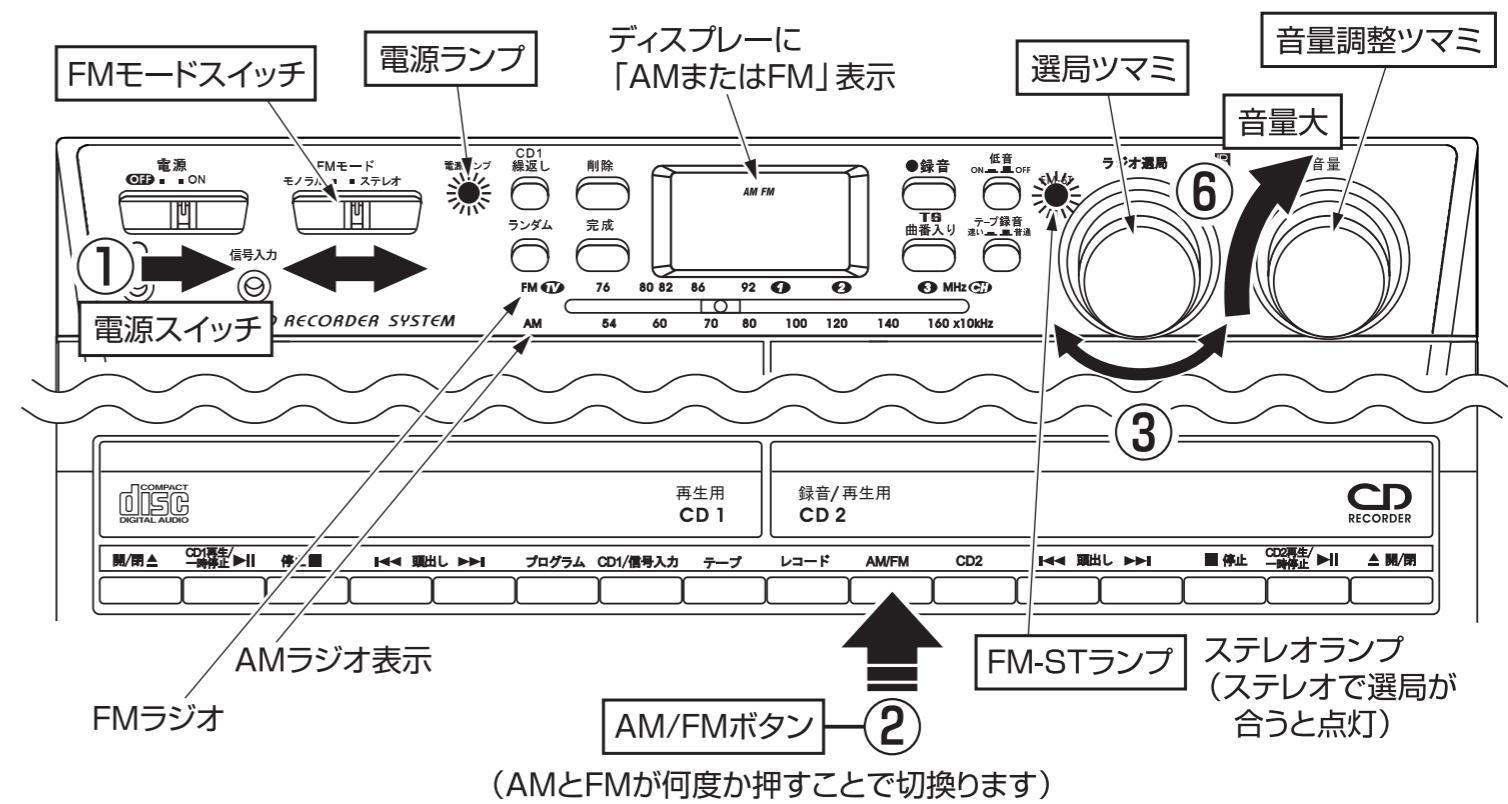
CDプレーヤーの再生方法



開閉ボタン

操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
1 本体裏側の「外部スピーカー」赤/白ジャックにスピーカーを差込みます		「外部出力」に差込みしても音はでません※必ず外部スピーカーに差込んでください
2 コンセントを電源プラグに差込み 本体電源スイッチを入れます(電源ON)	本体正面のディスプレイが青く点灯します	スピーカーからFMラジオのノイズ音が聞こえてきます「ザー」規定設定により電源を入れると必ずFMラジオになります
3 CD1/信号入力ボタンを押します (左から7番目)	CD1/AUX	CDの記録状態により「busy」が表示されます 表示が消えるまで待ってください
4 CD1の開閉ボタンを押しトレーを開けます (左端)	CD1/AUX	再生用のCDをセットします ※読み取面はキレイな状態でセットしてください
5 CD1の開閉ボタンを押しトレーを閉じます (左端)	CD1/AUX	トレイは必ず「開閉ボタン」で閉じてください ディスプレイに再生用CDの曲数が表示されます ※表示されない場合は再度トレーの開閉をします
6 CD1の再生/一時停止ボタンを押し音楽CDを再生します(左から2番目)	CD1/AUX	スピーカーから音楽が聞こえます ※音量は規定設定されていますので好みで調整しても録音音量は変わりません
7 CD1の停止ボタンを押し音楽CDの再生を停止します(左から3番目)	CD1/AUX	CD1再生用CDが停止します スピーカーから音が出なくなります

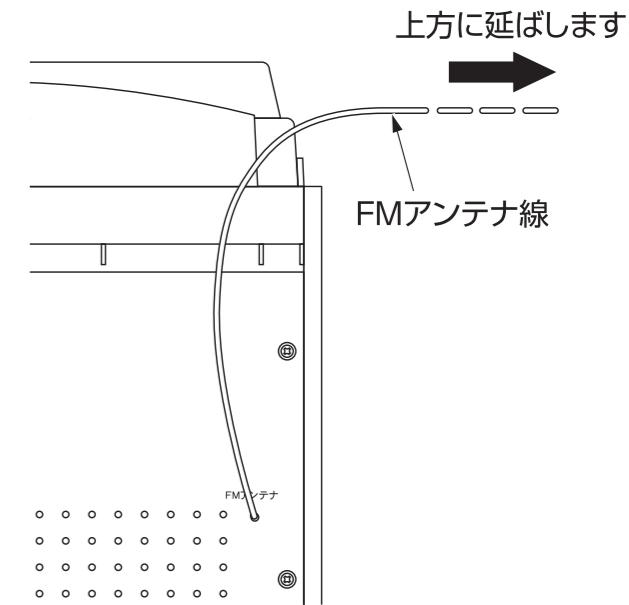
ラジオの聴き方



- ①前面パネルの「電源」スイッチをON側にして電源を入れます。電源ランプ「赤」が点灯します。
- ②「AM/FM」ボタン押しラジオを選択します。AMまたはFMに合わせます。(ディスプレーを見ながらボタンを何度か押し、ディスプレーでAMかFMかを確認してください。)
- ③「選局ツマミ」を回して、お聴きになりたいラジオ局(周波数)に合わせます。
- ④FMステレオ放送を聞く場合は「FMモードスイッチ」を「ステレオ」にしてください。選曲されるとFMステレオ表示ランプが点灯します。FM電波が弱く、雑音が発生した場合はモノラル側を選択すると、雑音が改善される場合があります。モノラル側ではFMステレオ表示ランプは点灯しません。
- ⑤音量調整ツマミを回し、お好みの音量でお聴きください。

●外部FMアンテナの取付け

「FMアンテナ線」は、なるべく高いところに長く伸ばして取付けてください。
電波の状態、本機の設置場所によって位置を調整してください。

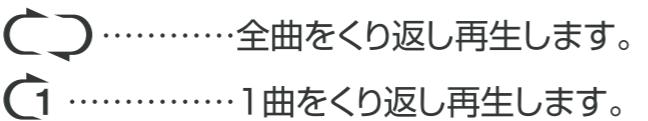


●AM放送を聞く時の注意

AMの電波は高い建物の影や鉄筋コンクリートのマンション内など、電波を受信しにくい場所があります。
本機の置き場所や向きを変え、電波を受信しやすい状態にしてお使いください。

CDプレーヤーの便利な機能

① リピート再生



- ①停止状態または再生中に「リピート」ボタンを押すと右図のディスプレイ表示が順番に出ます。
 - ①もう一度「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。
 - ②「再生」ボタンを押すと右図表示の「くり返し」再生が始まります。

2 ランダム再生

- ①「ランダム」ボタンを押すと右図の丸内がディスプレーに表示されます。
 - ②「RAN」の表示で「再生」ボタンを押すと全曲の順番が入れ替わって再生されます。
 - ③「ランダム」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。
 - ④「停止」ボタン押すとランダム再生が解除されます。

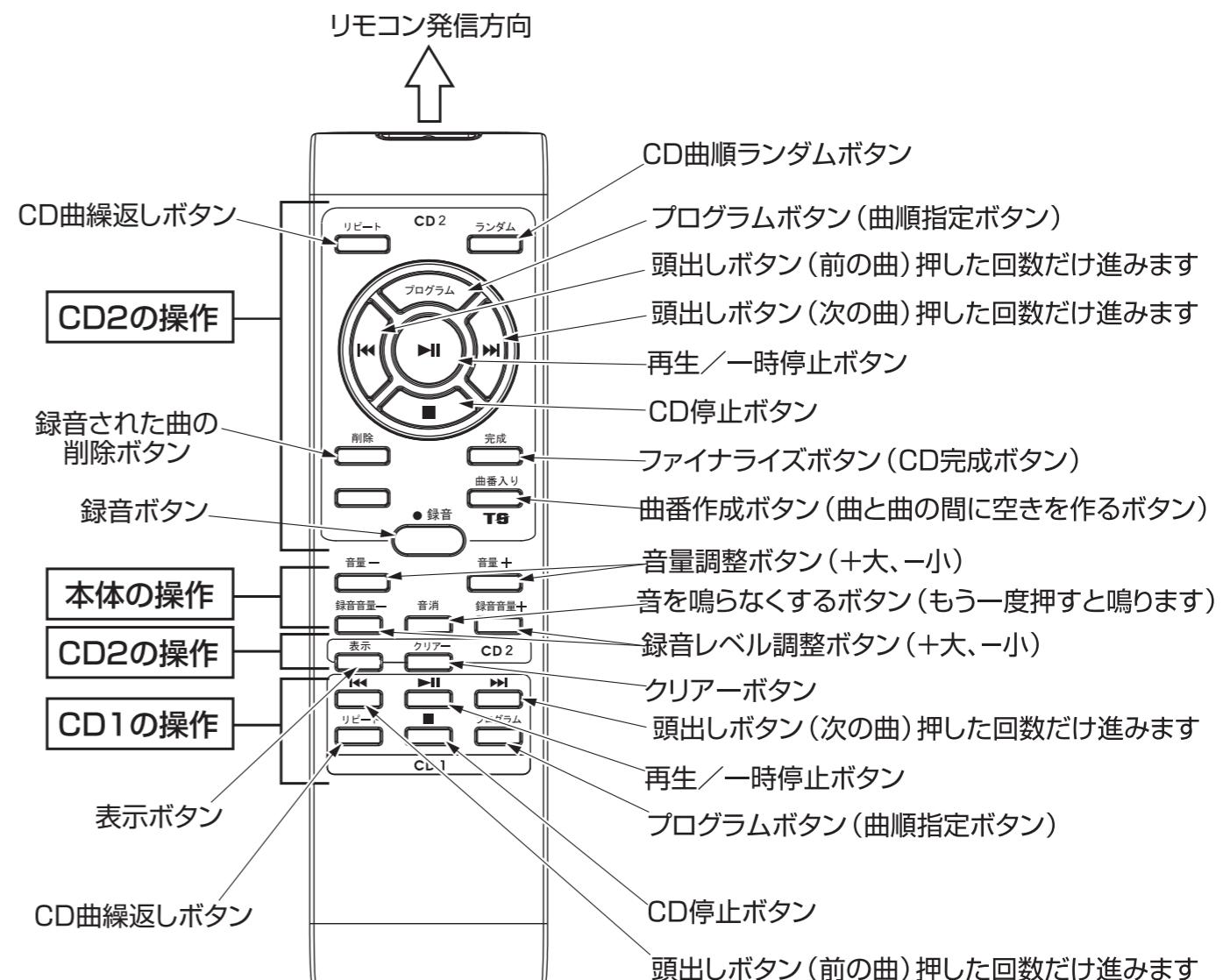
③ プログラム演奏

- ①お好みの曲順に32曲までプログラム再生できます。
 - ②停止状態で「プログラム」ボタンを押すとディスプレーに「PROG」表示が出ます。
 - ③「頭出し▶▶▶／◀◀◀」ボタンを押し曲を選択し、「プログラム」ボタンを押すと登録されます。これをくり返し曲順を登録してください。
 - ④「再生」ボタンを押すと登録した順に再生されます。
 - ⑤プログラム再生を終了するには、「停止」ボタンを押し、「PROG」表示を消してください。

ポイント

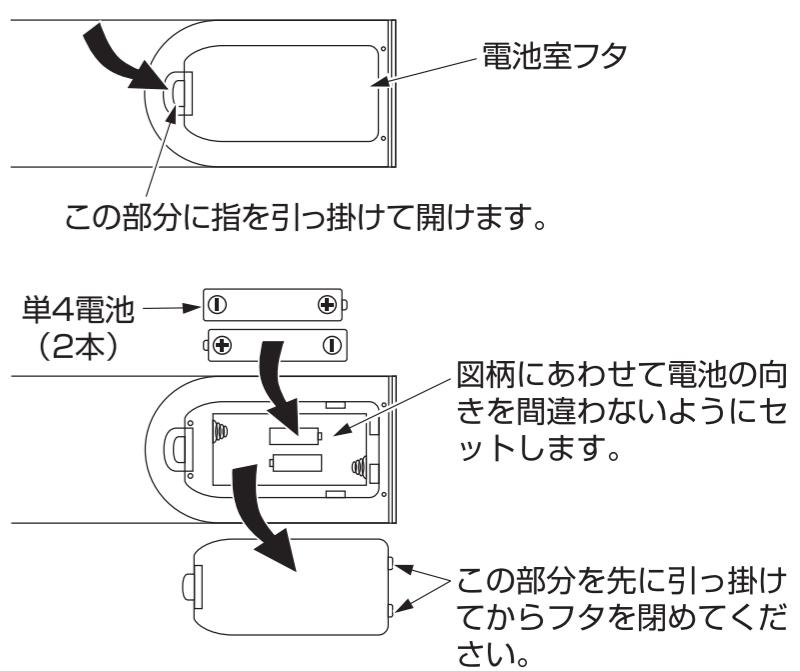
再生用CD2での再生は、ディスプレー表示がCD1の再生と異なりますが機能的には同じですので、CD1の操作を参考にして操作してください。

リモコンの名称と機能



●電池の交換方法（入れかた）

- 2本の電池(単4電池)を入れ、フタを閉めてください。リモコンの操作がしにくくなったら、新しい電池に交換してください。
+と-の向きを正しく入れてください。
 - 使用範囲は2m以内です。
 - リモコンは本体に向かって操作してください。



本体正面図（機能選択ボタン表示）

・操作ボタンは一度だけ押してください。続けて何度も押しますと不具合の原因になります。「busy」 「err」の表示で数分経っても消えない場合は電源をOFFにしコンセントを抜いて15分以上置いた後に再度操作をお願いします。必ず取扱説明書と本体のディスプレイを見ていただき操作ください。

